JUSTIO 複合機

brother

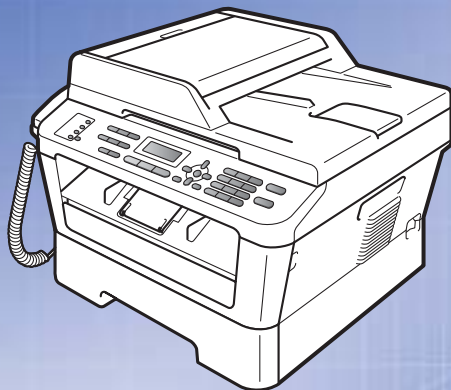
FAX-7860DW

ユーザーズガイド基本編

本書はなくさないように注意し、
いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

ユーザーズガイドCD-ROM

付属のユーザーズガイドCD-ROMには、下記のユーザーズガイドが収録されています。あわせてご覧ください。

・ユーザーズガイド　応用編
・ユーザーズガイド　パソコン活用編
・ユーザーズガイド　ネットワーク操作編
・ユーザーズガイド　ネットワーク知識編

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな?と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 4章「困ったときには」で調べる 80ページ

2 サポート　ブラザー 検索

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

Version A JPN

おすすめ機能 12P

ユーザーズガイドの構成

区分			
準備しましょう	電源の注意事項を知りたい	停電のときの注意事項を知りたい	安全にかかわるいろいろな注意事項を知りたい
	設置場所の注意事項を知りたい	トナーの注意事項を知りたい	
	設置して使用できる状態にしたい	コンピューターに接続して、プリンターやスキャナーとして使えるようにしたい	簡単にネットワークに接続して、複数のコンピューターでファクス、プリント、スキャンをしたい
	必要な設定をしたい		
まずは使ってみましょう	電話を使いたい	コンピューターからプリントしたい（基本）	消耗品を交換したい
	使用できる用紙が知りたい		お手入れのやりかたを知りたい
	ファクスしたい（基本）	スキャンしたい（基本）	トラブルを解決したい
	コピーしたい（基本）	電話帳を作成したい	リサイクルについて知りたい
もっと便利に使ってみましょう	使える機能や設定変更できる機能を制限して管理したい（セキュリティ）	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどを使って簡単に宛先を指定したい	ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい
	ファクスを転送したい	いろいろなファクス送受信をしたい	
	コンピューターからプリントしたい（応用）	コンピューター上にアドレス帳を作成したい	さまざまな設定をコンピューターから行いたい（リモートセットアップ）
	コンピューターでファクスを送受信したい	いろいろな方法でスキャンしたい	
	ネットワークに接続して複数のコンピューターでファクス、プリント、スキャンをしたい	ネットワーク設定を手動で行いたい	ネットワークにかかわるトラブルを解決したい
知りたいことをコンピューターですばやく探しましょう	基本から応用までまとめて探したい	いろいろなファクス送受信をしたい	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどを使って簡単に宛先を指定したい
	音量を設定したい	電話帳を作成したい	
	使える機能や設定変更できる機能を制限して管理したい（セキュリティ）	ファクスを転送したい	送信履歴などレポートを表示、印刷したい
		ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい	文字の入力方法を知りたい
知りたい用語を調べてみましょう	分からない用語を調べたい		

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項を説明しています。必ずお読みください。また、なくさないように注意し、いつでも確認できるように保管してください。

かんたん設置ガイド

本製品を使用するための準備（設置、基本的な設定、コンピューターへの接続の方法、ネットワーク環境設定など）を説明しています。はじめにお読みください。

ユーザーズガイド　基本編　＜本書＞

基本的な電話、コピー、ファクス、プリント、スキャンの使いかたやトラブル対処方法について説明しています。いつでも手にとって見られる場所に保管してください。

ユーザーズガイド　応用編

全体にかかわる各種設定、ファクス応用機能、転送機能、リモコン機能、レポート機能、仕様などを説明しています。

ユーザーズガイド　パソコン活用編

コンピューターからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方法や便利な使い方（Control Center）について説明しています。

ユーザーズガイド　ネットワーク操作編

ネットワーク環境で使用するための設定や、コンピューターからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方法を説明しています。

画面で見るマニュアル（HTML形式）

ユーザーズガイド基本編、応用編、パソコン活用編、ネットワーク操作編の他に、全体にかかわる各種設定、ファクス応用機能、転送機能、リモコン機能、レポート機能、仕様などを説明しています。
マニュアルの検索機能を使用して、知りたいことをすばやく探すことができます。

ユーザーズガイド　ネットワーク知識編

ネットワーク環境での用語や環境についての概要などを説明しています。

- 冊子は本製品に同梱されています。
- 画面で見るマニュアル（HTML形式）と各種説明書PDFマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
（http://solutions.brother.co.jp/）

ユーザーズガイドCD-ROM内のユーザーズガイドを見るときは

付属のユーザーズガイドCD-ROMには、下記のユーザーズガイドがPDF形式で収録されています。
- ユーザーズガイド 応用編
- ユーザーズガイド パソコン活用編
- ユーザーズガイド ネットワーク操作編
- ユーザーズガイド ネットワーク知識編

Windows®の場合

1 付属のユーザーズガイド CD-ROM を、CD-ROMドライブにセットする

「ブラザー ユーザーズガイドCD-ROM」の画面が表示されます。

補足

画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、［index.html］をダブルクリックして画面を表示させてください。

2 お使いの製品名にカーソルを合わせる

3 ［ユーザーズガイドを表示する］にカーソルを合わせ、見たいユーザーズガイドをクリックする

注意

ブラウザーの上部にセキュリティ警告のメッセージが表示されたときは、メッセージをクリックしてください。その後、「ブロックされているコンテンツを許可」をクリックし、「はい」をクリックしてください。

補足

（Microsoft® Internet Explorer® 6.0以上のみ）
［ユーザーズガイドを PC にコピーする］をクリックして、ユーザーズガイドをコンピューターにコピーすると、CD-ROM がなくてもユーザーズガイドを見ることができます。コンピューターにユーザーズガイドをコピーする場合、警告画面が表示されたときは、［実行］をクリックしてください。

Macintoshの場合

1 付属のユーザーズガイド CD-ROMを、CD-ROMドライブにセットする

2 ユーザーズガイド CD-ROMのアイコンをダブルクリックする

3 [index.html] をダブルクリックする

「ブラザー ユーザーズガイドCD-ROM」の画面が表示されます。

4 お使いの製品名にカーソルを合わせる

5 [ユーザーズガイドを表示する] にカーソルを合わせ、見たいユーザーズガイドをクリックする

インターネット上のサポートの案内を見るときは

付属のドライバー &ソフトウェアCD-ROMから、サポートサイトなどの案内を表示させることができます。

Windows®の場合

1 付属のドライバー&ソフトウェアCD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットする

「トップメニュー」が表示されます。

補足

画面が表示されないときは、「マイコンピューター（コンピューター）」からCD-ROMドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

2 「サービスとサポート」をクリックする

3 見たい項目をクリックする

- ブラザーホームページ
  ブラザーのホームページを表示します。
- ソリューションセンター
  サポートサイトを表示します。
- ブラザーダイレクトクラブ
  トナーカートリッジなどを購入できるオンラインショップを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

Macintoshの場合

1 付属のドライバー&ソフトウェアCD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットする

2 「サービスとサポート」をダブルクリックする

3 見たい項目をクリックする

- Presto! PageManager
  Presto! PageManagerのインストーラーをダウンロードします。
- オンラインユーザー登録
  オンライン登録画面を表示します。
- ソリューションセンター
  サポートサイトを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

目　次

付属のユーザーズガイドCD-ROMに収録「ユーザーズガイド 応用編」の目次

本書の表記

マークについて

本文中では、マークについて以下のように表記しています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の可能性がある内容を示しています。
注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
⇒XXXページ 「XXX」	参照先を記載しています。（XXXはページ、参照先）
「XXX」	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
「XXX」	ユーザーズガイド 応用編の参照先を記載しています。（XXXはタイトル名）
「XXX」	ユーザーズガイド パソコン活用編の参照先を記載しています。（XXXはタイトル名）
「XXX」	ユーザーズガイド ネットワーク操作編の参照先を記載しています。 （XXXはタイトル名）
「XXX」	安全にお使いいただくためにの参照先を記載しています。（XXXはタイトル名）
<XXX>	操作パネル上のボタンを表しています。（XXXはボタン名）
「XXX」	コンピューターの画面や液晶ディスプレイに表示される項目や入力文字などを表しています。（XXXは項目名や入力文字）

編集ならびに出版における通告

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

おすすめ機能

効率アップ におすすめ

コピー / プリントで効率アップ

仕分け作業は機械にまかせましょう	●ページ順に1部ごとコピー／プリント〔ソートコピー〕	➡プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」 ➡コピー ⇒52 ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」

ファクスで効率アップ

宛先指定はボタン 1 つで簡単に	●ワンタッチダイヤルを使用する ●短縮ダイヤルを使用する ●再ダイヤルを使用する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
送付書を自動的に付けられます	●送付書を付けて送信する ●送付書のオリジナルコメントを登録する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
1 度にまとめて送りましょう	●同じ原稿を数か所に送信する〔同報送信〕 ●メモリ内の文書を同じ相手に一括送信する〔とりまとめ送信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
原稿をセットしておくだけで相手が必要なときに送ります	●相手の操作で原稿を送信する〔ポーリング送信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
留守中にファクスが届いても、外出先でファクスを見られます	●他の場所のファクシミリに転送する	⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」

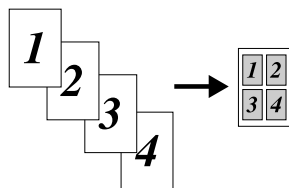
エコ におすすめ

リサイクルでエコに協力

リサイクルして有効に使いましょう	●消耗品の回収リサイクルについて	⇒20 ページ「リサイクル・廃棄のこと」

節約、コスト削減 におすすめ

用紙代を節約

両面を有効に使って節約	●両面コピー／両面プリント／両面ファクス	→ コピー ⇒ 52 ページ「両面コピーをする」 → プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」 → ファクス ⇒ 44 ページ「受信したファクスを両面印刷する」
複数の原稿を 1 枚にまとめてコピー / プリントして節約 	●レイアウトコピー／レイアウトプリント	→ コピー ⇒ 53 ページ「複数の原稿を 1 枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー(N in 1 コピー)〕」 → プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」
コンピューターでファクスを送受信してペーパーレス。必要なものだけプリントして節約	●ファクスをコンピューターで受信する〔PC ファクス受信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」
A4サイズを超える原稿を受信するとき、自動的に縮小して 1 枚にまとめて節約	●自動的に縮小して印刷する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」

通信費を節約

深夜割引※を上手に使いましょう。大量のファクスをタイマーで深夜に送れば通信代節約 ※ 深夜割引についてはご利用の回線接続会社にお問い合わせください。	●指定時刻に送信する〔タイマー送信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

省エネで節約

印字の質を少し下げてトナーを節約	●トナーを節約する〔トナー節約モード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
電力消費をおさえて節約	●スリープモードに入る時間を設定する 〔スリープモード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

安心 におすすめ

ファクスで安心

きちんと送信できたのか送信結果を知りたい	●送信結果レポートを表示する ●レポート・リストを印刷する	⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リスト」
宛先の間違いを防ぎたい	●ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）を設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
かかってきた相手を確認したい	●ナンバー・ディスプレイ設定	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」 ⇒ 45 ページ「電話帳の基本」
海外への送信で、回線状況が悪いときでも送信エラーを防ぎたい	●海外へ送信する〔海外送信モード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

制限で安心

勝手に設定変更されないように変更を制限したい	●設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
使える機能を制限して情報漏えいを防ぎたい。 無駄な操作を防げばコスト削減にも役立ちます。	●使用できる機能を制限する〔セキュリティ機能ロック〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

質がきれい におすすめ

コピー／ファクスの質を調整

拡大／縮小を思いどおりに	●拡大･縮小コピーをする	⇒51 ページ「拡大･縮小コピーをする」
原稿の種類によって画質を調整する	●コピー／ファクス送信の画質を設定する	→ コピー ⇒54 ページ「画質を設定する」 → ファクス ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
コピーの明るさを調整する	●明るさを設定する	⇒55 ページ「明るさを設定する」
コピーのコントラストを調整する	●コントラストを設定する	⇒55 ページ「コントラストを設定する」
ファクス送受信時の濃度を調整する	●ファクス送信時の原稿濃度を設定する ●ファクス受信時の印刷濃度を設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」

1 使う前に知ってほしいこと

各部の名称とはたらき

操作パネルの名称とはたらき

ファクス機能ボタン

● <オンフック/保留>ボタン
ファクスを手動送信するときに押します。⇒38 ページ「ファクスを手動で送信する」
通話を保留するときに押します。⇒22 ページ「通話を保留にする」

● <再ダイヤル/ポーズ>ボタン
最後にダイヤルした番号を再ダイヤルするときに押します。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
ダイヤル番号の入力時にポーズ（待ち時間）を入れるときに押します。

● <ファクス画質>ボタン
ファクス送信する原稿に合わせて、画質を一時的に設定するときに押します。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

コピー機能ボタン

● <オプション>ボタン
明るさ、コントラスト、ソート、レイアウトコピー、コピー画質などを一時的に設定するときに押します。
⇒ 52 ページ「1 部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」、
⇒53 ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕」、
⇒55 ページ「明るさを設定する」、
⇒54 ページ「画質を設定する」、
⇒ 55 ページ「コントラストを設定する」

● <拡大/縮小>ボタン
拡大/縮小コピーするときに押します。
⇒51 ページ「拡大･縮小コピーをする」

● <両面>ボタン
両面コピーするときに押します。
⇒52 ページ「両面コピーをする」

ワンタッチボタン

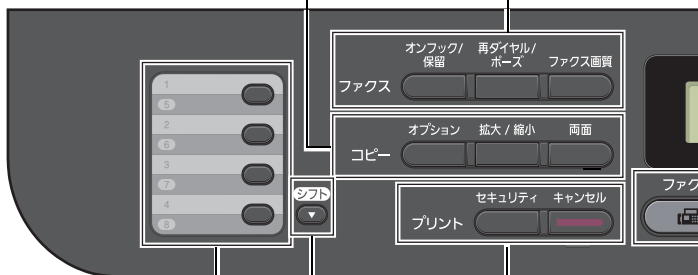
あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

<シフト>ボタン

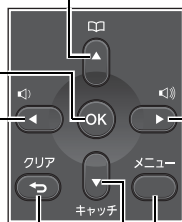
ワンタッチダイヤルの5～8を登録またはダイヤルするときは、<シフト>ボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

プリント機能ボタン

● <セキュリティ >ボタン
4桁のパスワードを使用して機密データを印刷するときに使用します。
詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。

● <キャンセル>ボタン
プリントデータを削除します。

ナビゲーションキー

⇒19 ページ「ナビゲーションキーを使った基本操作」

ファクスモードのときに押すと短縮先の指定や電話帳の検索ができます。

機能を確定するときに押します。

- 前のレベルメニューに移動します。
- 着信音を小さくします。

- 次のレベルメニューに移動します。
- 着信音を大きくします。

入力したデータの削除や一つ前のレベルのメニューに戻す場合に押します。

機能を設定するときに押します。

キャッチホンを受けるときに押します。

液晶ディスプレイ

- 日時、現在の設定内容、操作方法を案内するメッセージなどが表示されます。
  長いメッセージはスクロール表示します。
- マークは、本製品の電波状態（無線LAN設定の場合）を4つの段階で表示します。

弱い　強い

ダイヤルボタン

ダイヤルするときや、文字入力をするときに押します。

<スタート>ボタン

コピー、ファクス、スキャンを開始するときなどに押します。

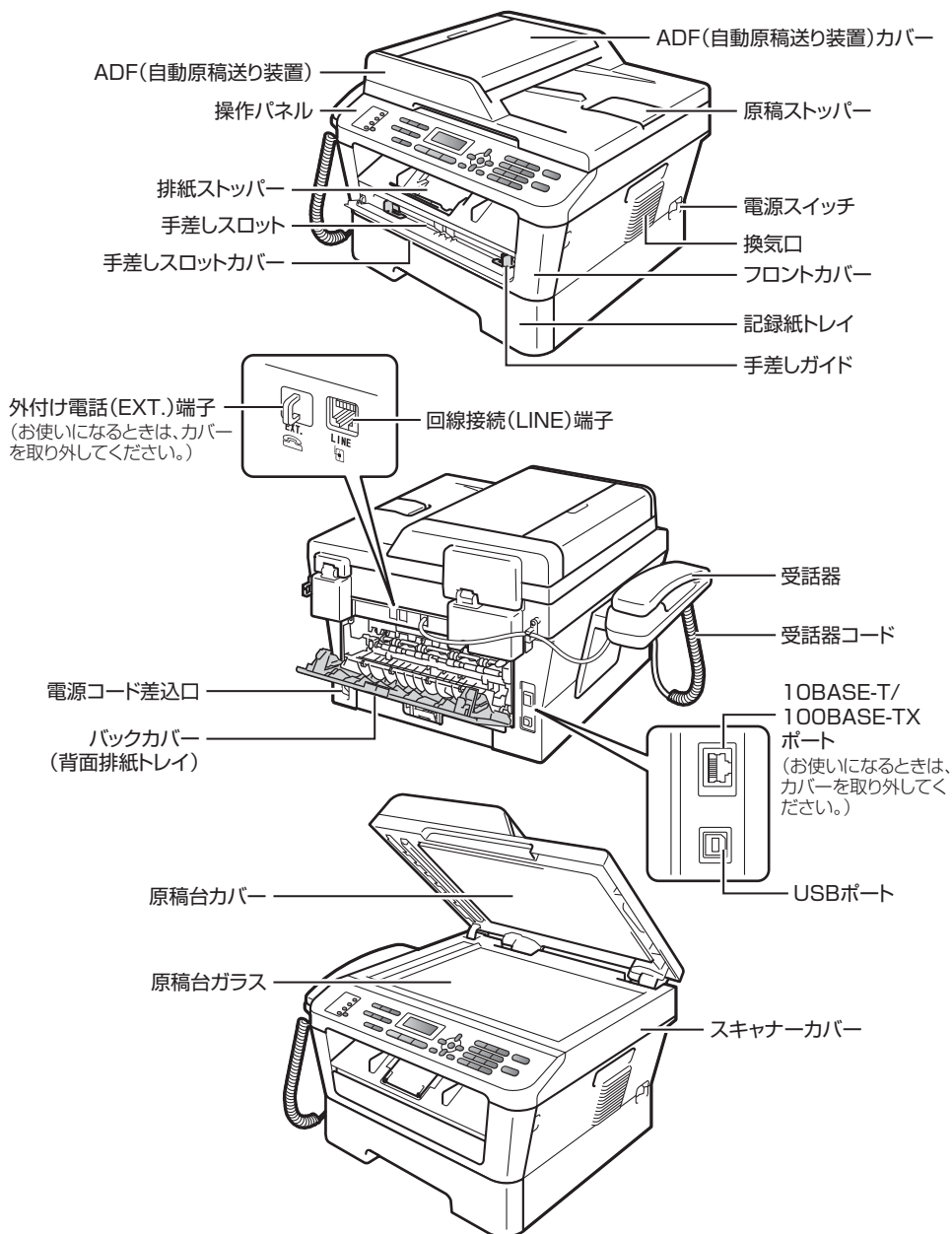
モード選択ボタン

ファクス／スキャン／コピーの各モードに切り替えます。現在選択されているモード選択ボタンは緑色に点灯します。
⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

<停止/終了>ボタン

ファクス送信や操作を中止するとき、機能設定を終了するときなどに押します。

各部の名称

ADF（自動原稿送り装置）カバー
ADF（自動原稿送り装置）
操作パネル
原稿ストッパー
排紙ストッパー
手差しスロット
手差しスロットカバー
電源スイッチ
換気口
フロントカバー
記録紙トレイ
手差しガイド
外付け電話（EXT.）端子
（お使いになるときは、カバーを取り外してください。）
EXT.
LINE
回線接続（LINE）端子
受話器
受話器コード
電源コード差込口
バックカバー
（背面排紙トレイ）
10BASE-T/
100BASE-TX
ポート
（お使いになるときは、カバーを取り外してください。）
USBポート
原稿台カバー
原稿台ガラス
スキャナーカバー

機能設定操作の基本

ナビゲーションキーを使った基本操作

本製品は、ナビゲーションキーを使って各種設定をしたり、メニューを選択したりすることができます。

ナビゲーションキー	キーの役割
メニュー	• メインメニューを表示する
OK	• 次のメニューレベルに移る • 選択項目を確定（決定）する
▲ ▼	• メニュー内の項目を表示する
◀	• 前のメニューレベルに戻る • 着信音量を小さくする
▶	• 次のメニューレベルに進む • 着信音量を大きくする
クリア	• 入力した文字や数字を削除する • 前のメニューレベルに戻る
停止 / 終了ボタン	**キーの役割**
停止 / 終了	• 操作を中止するときや、設定を終了する • モード画面に戻る

ダイヤルボタンを使った基本操作

<メニュー >を押した後、ダイヤルボタンで設定したい機能の番号を直接入力して、各種設定ができます。

補足

● 設定を途中で終了するときは、<停止/終了>を押してください。

● 機能の番号については、⇒120 ページ「機能一覧」を参照してください。

電話回線のこと

自動で回線種別を設定する

電話機コードを接続してから電源コードを接続してください。
本製品は回線種別の自動設定を行います。回線種別の自動設定が行われた後、液晶ディスプレイに設定された回線が表示されます。

補足

- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、「電話機コード両端の接続をご確認ください。または、ご利用の回線業者へお問い合わせください。　1. OK　2.中止」のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。接続後、<1>を押すと回線チェックが行われます。
  電話機コードを接続しない場合は、<停止/終了>または、<2>を押してください。「接続を中止しますか？　1. はい　2. いいえ」と表示されますので<1>を押してください。
- 手動で回線種別を設定する場合は⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。

リサイクル・廃棄のこと

消耗品（トナーカートリッジ、ドラムユニット）の回収リサイクルについて

弊社では環境保護に対する取り組みの一環として消耗品のリサイクルに取り組んでおります。使い終わりましたトナーカートリッジやドラムユニットの回収にご協力をお願いいたします。詳しくはホームページを参照してください。
http://brother.jp/product/support_info/printer/recycle/index.htm

ブラザー　回収

本製品の廃棄について

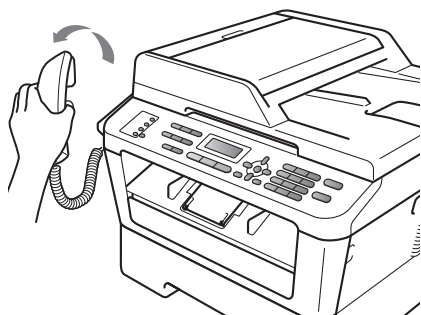
本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。
事業所　：産業廃棄物処理業者に委託してください。
一般家庭：お住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。詳しくは、各自治体にお問い合わせください。

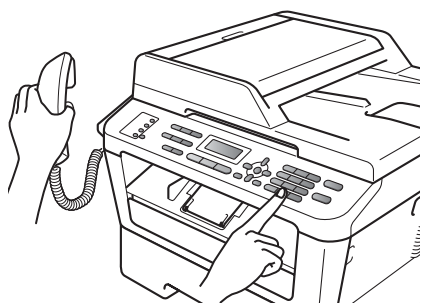
2 まずは使ってみましょう

電話をかける/受ける

電話をかけたり受けたりできます。

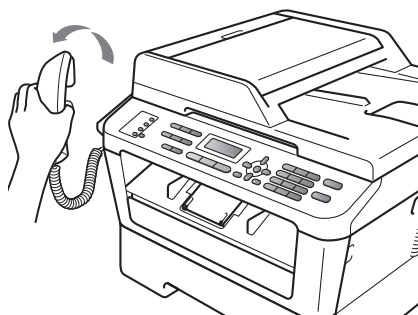
電話をかける

1 受話器台から受話器を取る

2 ダイヤルボタンで相手先の電話番号を押す

相手が出たら話します。

3 通話を終えるときは、受話器を受話器台に戻す

回線が切断されます。

電話を受ける

1 着信音が鳴ったら、受話器を取る

2 通話を終えるときは、受話器を受話器台に戻す

回線が切断されます。

通話を保留にする

1 通話中に<オンフック/保留>を押す

保留メロディが流れます。（相手にこちらの声が聞こえなくなります。）

2 受話器を受話器台に戻す

3 通話に戻るときは、受話器を取る

いろいろな電話のかけかた

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、再ダイヤルなどを使って電話をかけることができます。

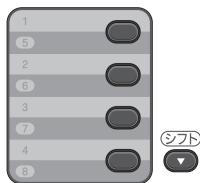
ワンタッチダイヤルからかける

ワンタッチボタン（1～8）を押すだけで、登録されている電話番号を指定することができます。

1 受話器台から受話器を取る

2 ワンタッチボタンを押す

補足

- ワンタッチダイヤルの指定のしかたは以下のとおりです。
  - 1～4を指定するとき
    ワンタッチボタンを押します。
  - 5～8を指定するとき
    <シフト>を押しながらワンタッチボタンを押します。

- ワンタッチダイヤルの登録のしかたは⇒45 ページ「電話帳の基本」を参照してください。

短縮ダイヤルからかける

<▲>を押した後、短縮番号（001～200）を押すだけで、登録されている電話/ファクス番号を指定することができます。短縮ダイヤルには最大 200 件登録できます。

1 受話器台から受話器を取る

2 <▲>を押す

3 短縮番号（001～200）を押す

補足

短縮ダイヤルの登録のしかたは⇒45 ページ「電話帳の基本」を参照してください。

電話帳からかける

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した番号は、すべて電話帳から読みがなで検索することができます。

1 受話器台から受話器を取る

2 <▲>を2回押す

3 検索したい名前の読みがなの最初の文字を入力して、<OK>を押す

入力した文字から始まる名前が50音順、またはアルファベット順に表示されます。

4 <▲>または<▼>で該当の名前を選択して、<OK>押す

補足

- 電話帳登録、グループダイヤルの登録のしかたは、⇒45 ページ「電話帳の基本」を参照してください。
- 登録されている相手先名称の一覧（電話帳リスト）を印刷することができます。印刷のしかたについては⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リスト」を参照してください。
- 文字入力のしかたについては⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

最後にかけた相手にかける〔再ダイヤル〕

1 受話器台から受話器を取る

2 <再ダイヤル/ポーズ>を押す

受話器を置いたままかける

1 ＜オンフック/保留＞を押し、相手先の電話番号を押す

補足

- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳からもかけることができます。
- 電話帳登録、グループダイヤルの登録のしかたは、⇒45 ページ「電話帳の基本」を参照してください。

2 相手が出たら、受話器台から受話器を取る

途中で操作をやめるときは、もう一度＜オンフック/保留>を押します。

記録紙の基本

記録紙セットの流れ

基本的な記録紙のセットの流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　セットできるトレイと記録紙を確認する

トレイの場所やセットできる記録紙の種類などを確認して、記録紙を準備します。

⇒ 26 ページ「セットできる記録紙」、⇒ 27 ページ「使用できない記録紙」

STEP 2　記録紙をセットする

記録紙トレイまたは手差しスロットにセットします。正しくセットされていない場合、紙づまりや故障の原因になりますので、十分にご注意ください。

⇒ 28 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」、⇒ 30 ページ「手差しスロットに記録紙をセットする」

STEP 3　セットした記録紙にあわせて本体の設定を変更する（必要に応じて）

本体で設定されている記録紙の種類やサイズ（お買い上げ時は「普通紙」「A4」）と実際にセットした記録紙の種類やサイズを合わせるため、必要に応じて本体の設定を変更します。

設定した内容は次に変更するまで保存されるので、セットした記録紙と本体の設定内容が合っているかを必要に応じて確認してください。

⇒ 32 ページ「セットした記録紙にあわせて本体の設定を変更する」

セットできる記録紙

本製品では、以下の表に記載されている種類、サイズ、枚数の記録紙をセットできます。

トレイ名称	記録紙の種類	記録紙のサイズ	枚数（80g/m^2）
標準記録紙トレイ （トレイ1）	普通紙、普通紙（厚め） （60g/m^2～105g/m^2） 再生紙 はがき（30枚）	A4 USレター B5（ISO/JIS） A5 A5（横置き） B6（ISO） A6 はがき（同等品）	250枚
手差しスロット	普通紙、普通紙（厚め） （60g/m^2～105g/m^2） 超厚紙　（105g/m^2～163g/m^2） 再生紙 はがき ラベル紙 封筒※（洋形4号）	ユーザー定義サイズ （幅76.2～216.0mm 長さ116.0～ 406.4mm）	1枚

※ ⇒ 31 ページ「封筒などの記録紙を曲げずに印刷する」を参照してください。

補足

- 宛名ラベルは、レーザープリンター用の物をお使いください。
- 印刷品質を得るために、たて目用紙を使用することをお勧めします。
- 受信したファクスはA4サイズで印刷してください。
- 特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初に印字テストを行ってください。
- 一度に排紙できる枚数は普通紙（80g/m^2紙）の場合、約100枚です。

使用できない記録紙

次のような記録紙は絶対に使用しないでください。印刷品質の低下と本製品にダメージを与えるおそれがあります。これらの紙を使用した結果、生じた製品の故障・破損については保証またはサービス契約対象外となりますので、ご注意ください。

使用できない記録紙

- 光沢紙
- インクジェット紙
- ノーカーボン紙
- コート紙
- 化学紙（ラミネート紙など）
- ミシン目の入った記録紙
- 極端に滑らかな記録紙
- 極端にざらつきのある記録紙
- 極端に薄い記録紙
- カールしている記録紙
  カールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの記録紙をご使用になりますと、紙づまりなどの原因になります。
- 折り目やしわのある記録紙
- ホチキスや付箋の付いている記録紙
- 指定された坪量を超える記録紙
- 穴のあいた記録紙（ルーズリーフなど）
- 酸性、アルカリ性の記録紙
  中性紙をお使いください。
- よこ目用紙
  紙づまりや複数枚の記録紙が一度に送られる原因になります。
- 湿っている記録紙や印刷済みの記録紙
  紙づまりや故障の原因になります。
- OHPフィルム
- アイロン転写用紙

使用できない封筒

下記のような封筒は使用しないでください。
- 破れ、反り、しわのある封筒
- 極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
- 留め金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
- 粘着加工を施した封筒
- 袋状加工の封筒
- 折り目がしっかりついていない封筒
- エンボス加工の封筒
- レーザープリンターで一度印刷された封筒
- 内部が印刷された封筒
- 一定に積み重ねられない封筒
- 本製品の印刷可能用紙坪量指定を超える用紙で製造されている封筒
- 作りが不良で、端部がまっすぐでなかったり、一貫して四角になっていない封筒
- 透明な窓付、穴付、くりぬき付、ミシン目付などの封筒
- タテ形（和形）の封筒

注意

■いろいろな種類の封筒を同時にセットしないでください。紙づまりや給紙ミスを起こす恐れがあります。

■正しく印刷するには、アプリケーションソフトでの原稿サイズの設定とトレイにセットされた記録紙のサイズの設定を同じにしてください。

ほとんどの封筒は印刷できますが、封筒の仕上りによっては、給紙や印刷品質に問題が起こる場合があります。
レーザープリンター用の高品質の封筒を購入してください。
たくさんの封筒を購入する前に、必ず少部数を印刷して正しく印刷されることを確認してから購入してください。

補足

特に推奨する封筒のメーカーはありません。「使用できない封筒」以外の印刷に適した封筒をお選びください。

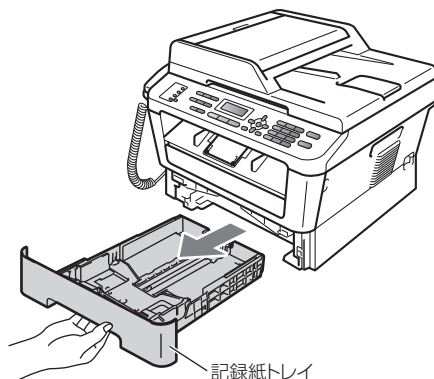
記録紙トレイに記録紙をセットする

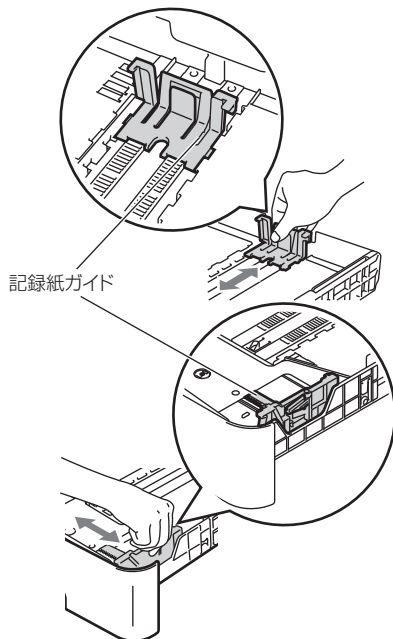
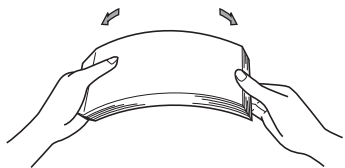
注意

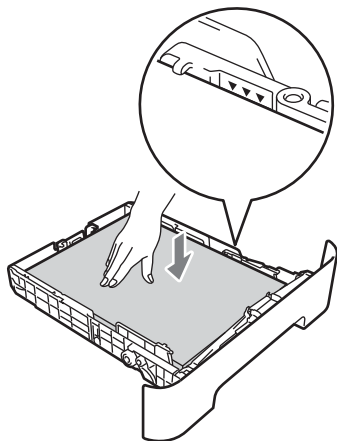
■記録紙は数回に分けて入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。

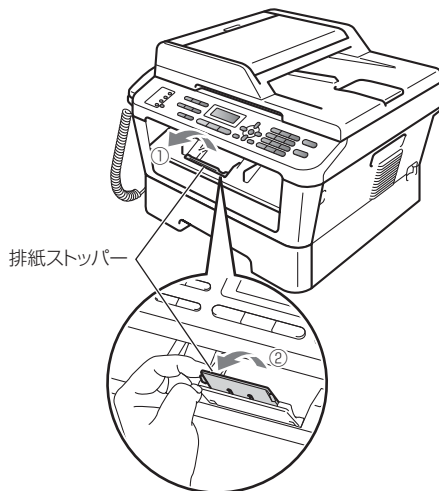
■種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

■記録紙ガイドが記録紙のサイズに正しくセットされていることを確認してください。正しくセットされていないと、印刷時にトレイ内で記録紙がずれ、故障の原因になります。

1 記録紙トレイを本製品から完全に引き出す

2 緑色の記録紙ガイドをつまみながらスライドさせて、使用する記録紙の表示位置に合わせる

緑色の記録紙ガイドが固定され動かないことを確認してください。

3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく

4 印字面を下にして記録紙トレイに入れる

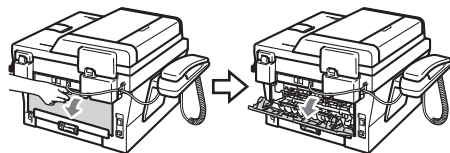
記録紙がトレイの中で平らになっていること、▼▼▼マークより下の位置にあることを確認してください。

5 記録紙トレイを本製品に戻す

6 排紙ストッパーを開く

注意

■印刷された記録紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように排紙ストッパーを開いてください。

■排紙ストッパーを開かない場合には、本製品から出てきた記録紙をすぐに取り除くことをおすすめします。

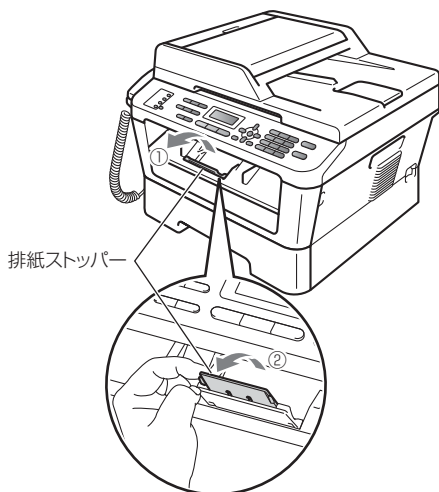
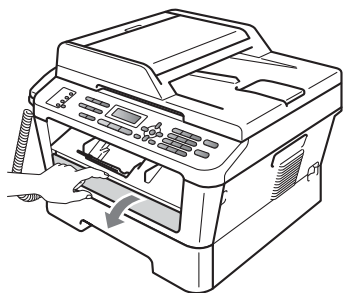
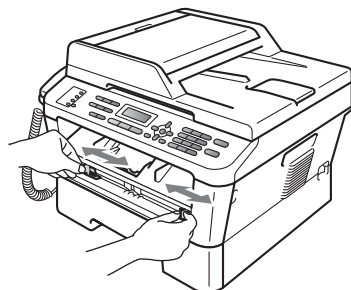
7 はがきに印刷する場合、バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける

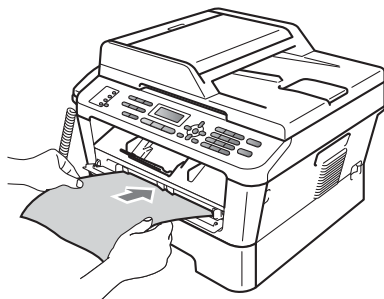
- 印刷後はバックカバー（背面排紙トレイ）を閉じてください。
- 紙づまりしないように、印刷後は記録紙をすぐに取り出してください。

手差しスロットに記録紙をセットする

超厚紙、ラベル紙、封筒は、手差しスロットにセットしてください。⇒31 ページ「封筒などの記録紙を曲げずに印刷する」を参照してください。

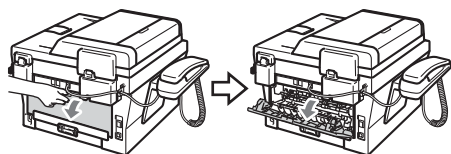
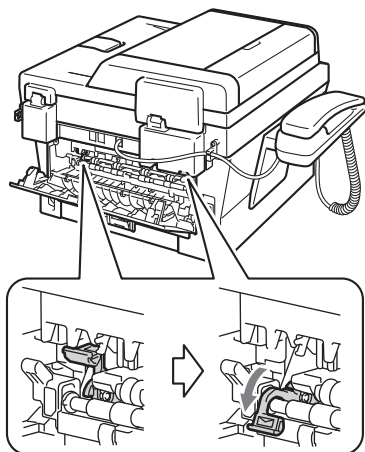
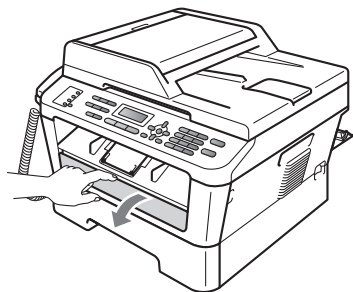
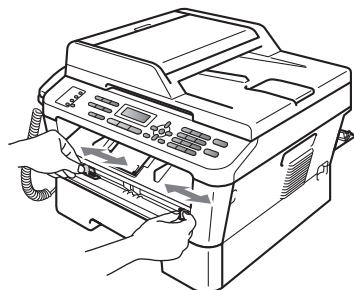
補足

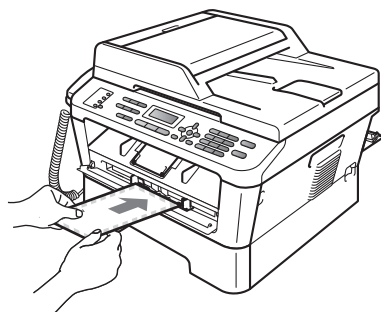
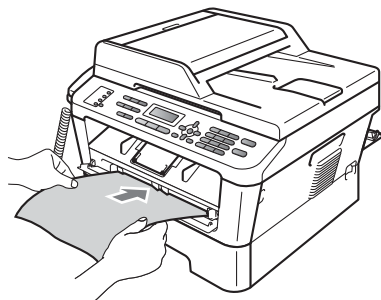
手差しスロットから記録紙を挿入すると、本製品は自動的に手差しスロットからの印刷モードに切り替わります。

1 排紙ストッパーを開く

2 手差しスロットカバーをゆっくりと開く

3 手差しガイドを両手で持って、記録紙に合わせる

4 記録紙を両手で持って、手差しスロットから挿入する

記録紙の先端が給紙ローラーにつきあたるまで入れ、記録紙が少し引き込まれるまで、そのままの状態で待ちます。
本製品が自動的に給紙しはじめたら、記録紙から手を離します。

封筒などの記録紙を曲げずに印刷する

手差しスロットに挿入した記録紙を曲げずに背面から取り出すことができます。

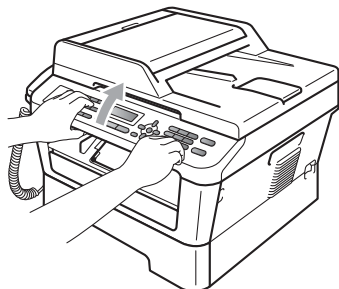
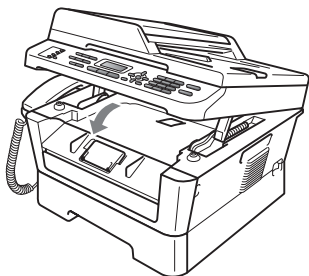
1 バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける

2 封筒に印刷する場合、左右の緑色のレバーをイラストのように下げる

3 手差しスロットカバーを開ける

4 手差しガイドを両手で持って、記録紙に合わせる

5 記録紙を両手で持って、手差しスロットから挿入する

記録紙が給紙ローラーにつきあたるまで入れ、記録紙が少し引き込まれるまでそのままの状態で待ちます。
本製品が自動的に給紙しはじめたら、記録紙から手を離します。

注意

■片面をすでに印刷した記録紙に印刷する場合には、印刷する面（白紙面）を上向きに（記録紙の上部から手差しスロットに差し込むように）して、セットしてください。

■記録紙は、手差しスロットの適切な位置にまっすぐ挿入してください。記録紙が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。

■記録紙は 1 枚ずつ挿入して、印刷してください。紙づまりを起こす恐れがあります。

■サイズの小さな記録紙を取り出すときは、スキャナーカバーを両手でゆっくり開いてください。

■スキャナーカバーを開いた状態でも印刷ができます。スキャナーカバーを閉めるときは、両手でゆっくり閉じてください。

補足

●紙づまりしないように印刷後は記録紙をすぐに取り出してください。

●印刷が終わったら緑色のレバーを元の位置まで戻してください。

セットした記録紙にあわせて本体の設定を変更する

本体で設定されている記録紙の種類やサイズ（お買い上げ時は「普通紙」「A4」）と実際にセットした記録紙の種類やサイズを合わせるため、必要に応じて本体の設定を変更します。

記録紙のタイプを設定する

記録紙トレイにセットした記録紙のタイプを選択します。

1 <メニュー>→<1>→<2>→<1>を押す

2 <▲>または<▼>で記録紙のタイプを選択して、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

記録紙のサイズを設定する

記録紙トレイにセットした記録紙のサイズを選択します。

1 <メニュー>→<1>→<2>→<2>を押す

2 <▲>または<▼>で記録紙のサイズを選択して、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

原稿の基本

原稿セットで注意すること

インク、修正液、のりなどが付いている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットするときに注意することは、以下のとおりです。

- 原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となります。取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
- 原稿を強く押しこまないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 以下のような原稿は、原稿台ガラスを使用してください。ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシート（市販品）はお使いになれません。

注意

コピーについて

法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

- 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債、地方債
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手やはがき（郵便事業株式会社製　通常郵便葉書）
  - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- 著作権のある物
  - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
- その他の注意を要する物
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類

原稿をセットする

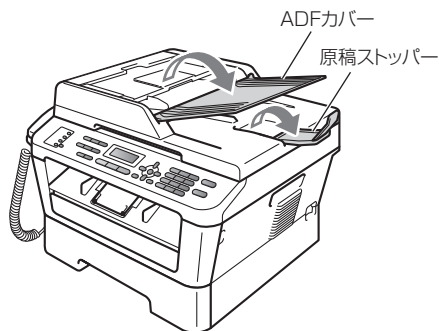
原稿をセットするには、ADF（自動原稿送り装置）または、原稿台ガラスの2つの方法があります。原稿の種類や形状に応じてどちらかを選択してください。
セットできる原稿については、⇒33 ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

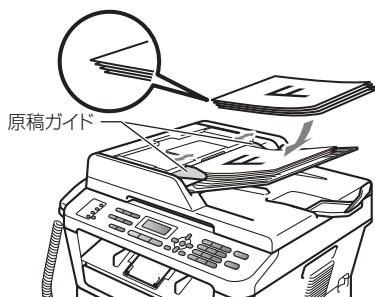
補足

原稿台ガラスやスキャナー読み取り部が汚れていると、印字品質に影響することがあります。原稿台ガラスやスキャナー読み取り部の清掃については、⇒62 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。

ADF(自動原稿送り装置)にセットする

原稿は一度に35枚までセットできます。

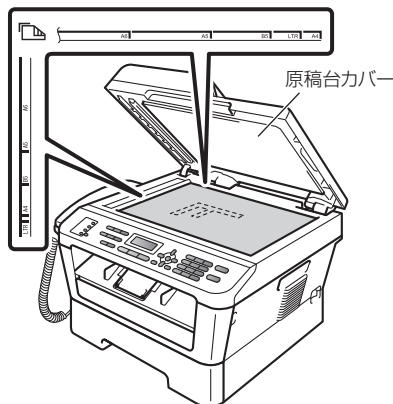
1 ADFカバーと原稿ストッパーを開ける

2 原稿の読み取る面を上にして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む

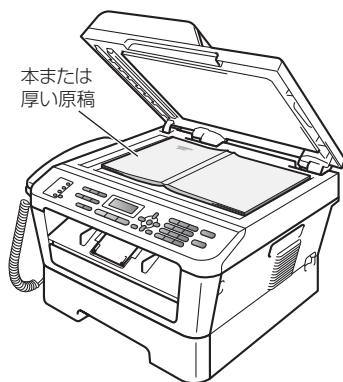
原稿ガイドは原稿の幅に合わせます。

原稿台ガラスにセットする

原稿は1枚ずつセットします。本または厚い原稿なども原稿台にセットします。

- ■原稿台カバーは必ず閉じてから送信してください。開いたまま送信すると画像が黒くなることがあります。
- ■本や厚みのある原稿のときは、原稿台カバーをていねいに閉じてください。また、上からあまり強く押さないでください。

1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイド左奥に合わせて、原稿の読み取る面を下にセットする

3 原稿台カバーを閉じる

本や厚みのある原稿のときは、原稿台カバーを無理に閉じずに軽く押さえてください。

原稿の読み取り設定をする

使用状況に応じて原稿の読み取り設定をしてください。

原稿台スキャンサイズを設定する

原稿台ガラスからファクスやコピーをする場合の原稿読み取りサイズを選択することができます。

1 <メニュー>→<1>→<7>→<1>を押す

2 <▲>または<▼>で読み取りサイズを選択して、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

ファクス送信の基本

基本的なファクス送信の流れと機能を説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

ファクス送信の流れ

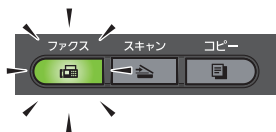
ファクス送信には、「自動送信」と「手動送信」があります。ここでは「自動送信」を例に操作の流れを説明します。手動送信については、⇒38 ページ「ファクスを手動で送信する」を参照してください。

原稿台ガラスを使って複数枚の原稿を送信するときは、リアルタイム送信は「ｵﾌ」にしてください。リアルタイム送信については⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

補足

- 「ﾒﾓﾘｶﾞｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と表示されたときは、本製品のメモリがいっぱいです。メモリに蓄積したファクスを出力してメモリを消去してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- メモリに読み込み可能な原稿の枚数はファクス画質と原稿の内容に影響します。

STEP 1　ファクスモードに切り替える

操作パネルの＜ファクス＞を押してファクスモードに切り替えます。ファクス操作を行う場合には、必ずファクスモードになっていることを確認してください。

ファクスモードに切り替えると、液晶ディスプレイはファクス標準画面に切り替わります。

①　②　③
④
```
10/22 17:24 FAX
画質:標準
```

①：月／日

②：現在の時刻

③：設定したファクスの受信モード

④：画質

STEP 2　原稿をセットする

原稿をセットするには次の 2 つの方法があります。

● ADF（自動原稿送り装置）にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してファクスできます。

● 原稿台ガラスにセットする

1 枚ずつ原稿を読み取ります。本や厚みのある原稿などもファクスできます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

⇒ 33 ページ「原稿セットで注意すること」、
⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

STEP 3　ファクス送信の機能を設定する

必要に応じてファクスの送り方を設定します。

● 送信条件

■同じ原稿を複数の相手に送信する〔同報送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
■原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
■相手の操作で原稿を送信する〔ポーリング送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
■海外へ送信する〔海外送信モード〕 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
■指定時刻に送信する〔タイマー送信〕 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
■メモリ内の文書を同じ相手に一括送信する〔とりまとめ送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
■送付書を付けて送信する　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

● 原稿読み取り

■画質　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
■原稿濃度　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

複数の設定を組み合わせたいとき
設定後、<1> を押して他の機能を設定します。他の機能を設定しないときは、<2> を押した後、「STEP4 宛先を指定する」に進みます。

STEP 4　宛先を指定する

● 直接入力

■ダイヤルボタンを使用する
　ダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。

● 電話帳を利用

■ワンタッチダイヤルを使用する
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
■短縮ダイヤルを使用する
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
■電話帳から検索する
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

● その他

■同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
■チェーンダイヤルを使用する　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

STEP 5　スタートする

● ADF（自動原稿送り装置）から送信するとき

＜スタート＞を押して、ファクスを開始します。
正しく原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの読み取りがスタートします。

● 原稿台ガラスから送信するとき

＜スタート＞を押して、ファクスを開始します。

- 原稿が 1 枚のとき
  <2>、または＜スタート＞を押して、ファクスを開始します。
- 原稿が複数枚のとき
  <1>を押して、次の原稿をセットした後<OK>を押します。
  この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、<2>または＜スタート＞を押して、ファクスを開始します。

ポイント
ファクス送信を途中で中止したいとき
＜停止 / 終了＞→<1>を押します。

ファクスを手動で送信する

ファクスを手動で送信する場合は、<オンフック/保留＞を押して相手先の受信音を確認してから送信します。

1 **ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする**

2 **<オンフック / 保留＞を押して、相手先のファクス番号を入力する**

3 **相手先の受信音（ピー）を確認して<スタート>を押す**

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で<1>を押します。

補足
ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。

ファクス送信を中止する

原稿の読み込みや送信を途中で中止します。

自動送信のとき

1 **<停止/終了>→<1>を押す**

手動送信のとき

1 **<停止/終了>を押す**

ファクス受信の基本

ファクス受信の流れ

受信モードの設定の流れを説明します。受信モードを設定すると、電話モード以外では自動的にファクスを受信します。ここでは、受信したファクスを自動的に本製品の記録紙で印刷する「自動受信」を例に操作の流れを説明します。他に本製品のメモリで受信する「メモリ受信」、受信操作を自分で行う「手動受信」、電話機を使用して受信操作を行う「リモート受信」などさまざまな受信方法があります。詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

STEP 1　受信モードを選ぶ

本製品の受信モードには以下の種類があります。

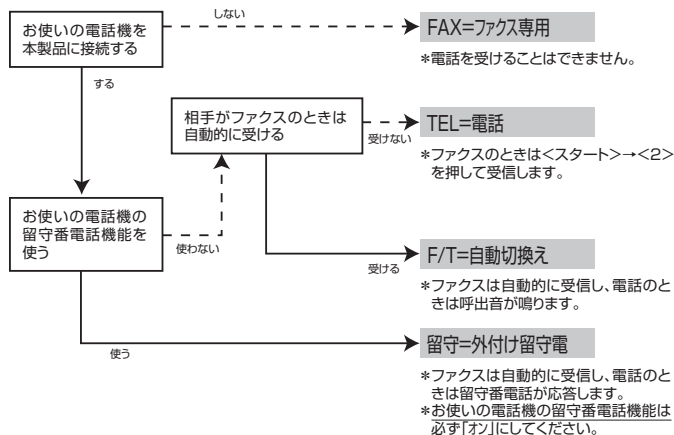
使用目的に応じて、受信モードを選択します。

⇒ 40 ページ「受信モードの種類」

● お使いの電話機を本製品と接続しない場合

・ファクス専用モード

● お使いの電話機を本製品と接続する場合

・自動切換えモード
・外付け留守電モード
・電話モード

STEP 2　受信モードを設定する

STEP1 で選択したモードに合わせて、本体を設定します。

⇒ 44 ページ「受信モードを設定する」

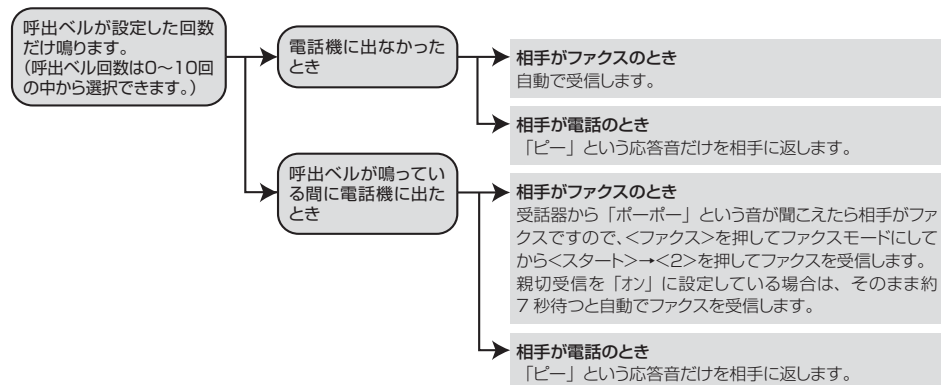
STEP 3　受信するファクスの印刷方法を設定する（必要に応じて）

必要に応じて、ファクスの印刷方法を設定します。

■自動的に縮小して印刷する　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
■印刷の濃さを設定する　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
■受信スタンプを設定する　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
■受信したファクスを両面印刷する　⇒ 44 ページ「受信したファクスを両面印刷する」

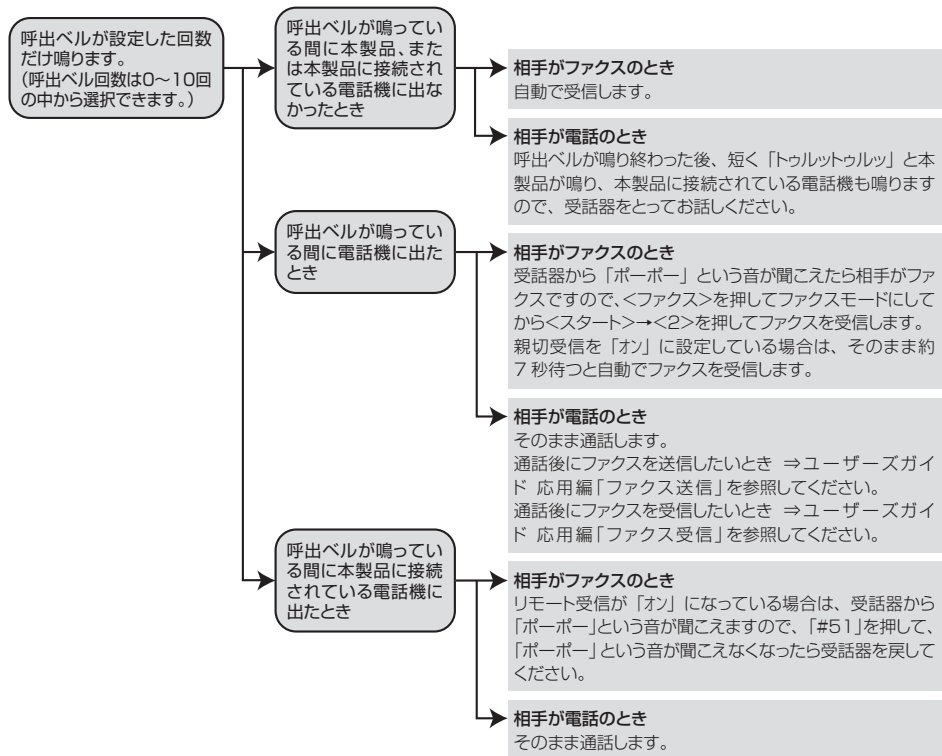
受信モードの種類

ファクス専用モード

本製品をファクス専用として使用するモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。

補足

- ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話機を本製品に接続してお使いになるときは、ファクス専用モードに設定しないでください。
- 呼出回数は、0～10回の中から選択できます。0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼出回数を0回か1回に設定してください。呼出回数の設定のしかたは⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

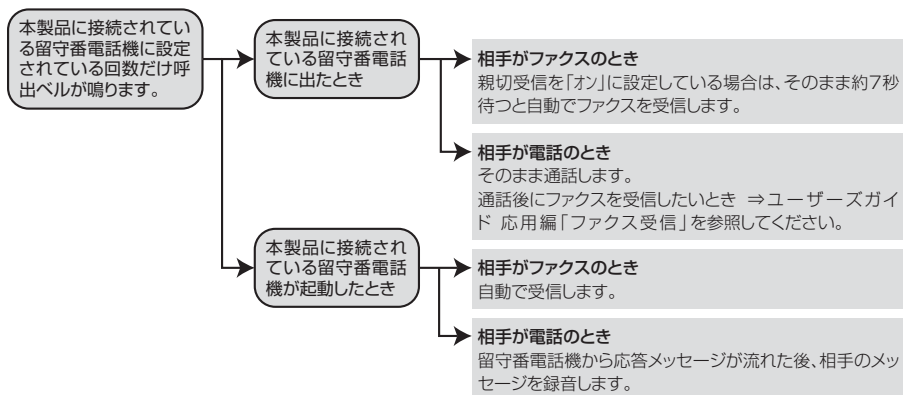
自動切換えモード

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは本製品、または本製品に接続されている電話機を呼び出す便利なモードです。

補足

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて < スタート > → <2>を押してください。※
  親切受信を「オン」に設定しているときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
- 呼出回数の設定のしかたは⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- 電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らし、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにすることができます。⇒ユーザーズガイド応用編「ファクス受信」を参照してください。
- 自動切換えモードでは、本製品に接続されている電話機に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 親切受信を「オン」に設定しているときは、回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは<スタート>→<2>を押してから受話器を戻してください。※
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を「オフ」にしてください。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して<スタート>→<2>を押してください。※
- 呼出回数を 7 回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼出回数を 6 回以下に設定することをお勧めします。
- 本製品と接続している電話機によって電話機から呼出ベルが鳴らない場合があります。このときは、呼出回数の設定を長めにしてください。
- 本製品に複数台の電話機を接続したときは、お使いの電話機のベルが鳴らない場合があります。

※ 本製品の操作時のみ。

外付け留守電モード

ファクスを自動で受けたい場合、また、本製品に接続されている留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。

注意

本製品に接続されている留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

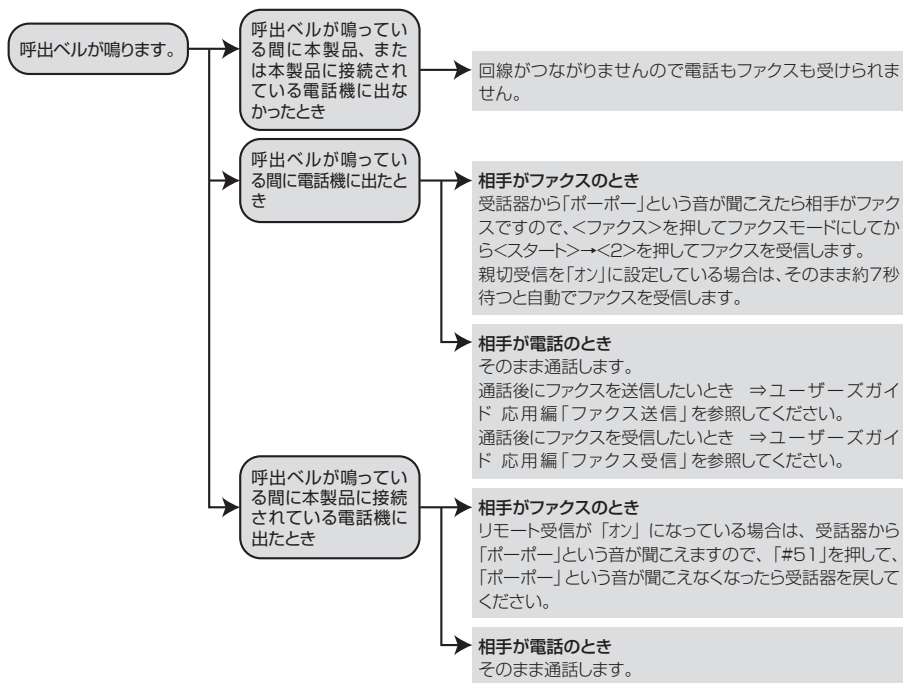
- 留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
- 応答するまでのベル回数は短め（1～2回）に設定してください。
- 応答メッセージは、最初に4、5秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20秒以内）に録音してください。
- 応答メッセージには、BGMを録音しないでください。
- 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

補足

- メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的には応答しません。
- 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。
- リモート受信が「オン」になっている場合は、本製品に接続されている電話機で電話に出たときもファクス受信できます。受話器から「ポーポー」という音が聞こえますので、「#51」を押して、「ポーポー」という音が聞こえなくなったら受話器を置いてください。※

※ 本製品の操作時のみ。

電話モード

本製品に接続されている電話に出た後、手動でファクスが受けられます。主に、本製品に接続した電話を使い、ファクスはあまり受けない場合に適したモードです。

補足

ファクス受信について

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて ＜ スタート ＞ → <2>を押してください。※1
  親切受信を「オン」に設定しているときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して<スタート>→<2>を押してください。※1

※1 本製品の操作時のみ。

キャッチホン※2契約をされているとき

- NTT とキャッチホンまたはキャッチホン II の契約をされている方は、キャッチホン / キャッチホン II サービスを利用することができます（局番なしの116番にお問い合わせください）。
- キャッチホンの具体的な操作方法については、お使いの電話機の操作方法に従ってください。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホンIIのご利用をお勧めします。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをお勧めします。

※2「キャッチホン」はNTTの登録商標です。ご利用の電話会社によっては同様のサービスでも名称が異なることがあります。

受信モードを設定する

1 **<メニュー>→<0>→<1>を押す**

2 **<▲>または<▼>で受信モードを選択して、<OK>を押す**

3 **<停止/終了>を押す**

補足

- 選択した受信モードは、液晶ディスプレイに日付、時刻とともに表示されます。
- 「FAX=ファクス専用」モード以外を設定した場合は、必ず電話機を本製品に接続してください。

受信したファクスを両面印刷する

受信したファクスを出力するとき、両面印刷するように設定できます。
両面印刷できる記録紙は、A4 サイズ（60g/m^2 ～ 105g/m^2）です。

1 **<メニュー>→<2>→<1>→<0>を押す**

2 **<▲>または<▼>で「オン」を選択して、<OK>を押す**

3 **<停止/終了>を押す**

補足

両面印刷を「オン」にすると「自動縮小」の設定に関係なく、内部的に「自動縮小」が「オン」と同じ状態で印刷されます。

電話帳の基本

電話帳に相手先の情報を登録するには、以下の図のように<ワンタッチ><短縮>のいずれかに登録する必要があります。
グループダイヤルは、ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに登録した複数の相手先をまとめて1つのグループとして登録します。

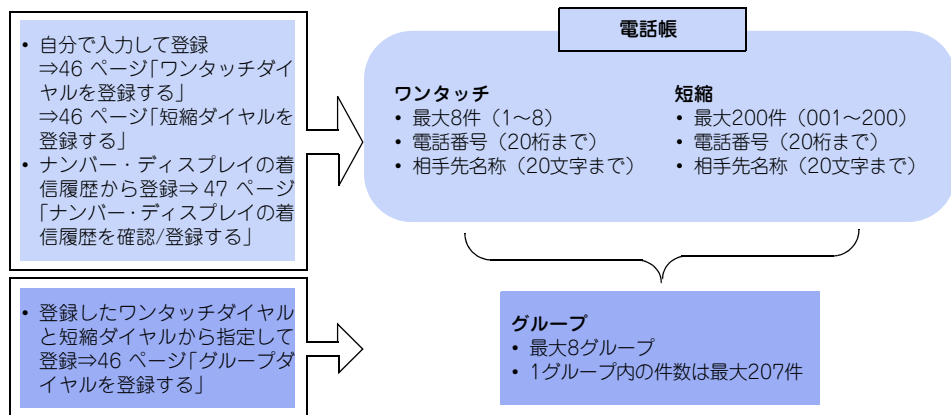
- 自分で入力して登録
  ⇒46 ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」
  ⇒46 ページ「短縮ダイヤルを登録する」
- ナンバー・ディスプレイの着信履歴から登録⇒ 47 ページ「ナンバー・ディスプレイの着信履歴を確認/登録する」

電話帳

ワンタッチ
- 最大8件（1〜8）
- 電話番号（20桁まで）
- 相手先名称（20文字まで）

短縮
- 最大200件（001〜200）
- 電話番号（20桁まで）
- 相手先名称（20文字まで）

- 登録したワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルから指定して登録⇒46 ページ「グループダイヤルを登録する」

グループ
- 最大8グループ
- 1グループ内の件数は最大207件

電話帳に登録する

注意

■登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。送付書については⇒ユーザーズガイド 応用編「送付書を付けて送信する」を参照してください。

■電話番号を間違って登録しないよう注意してください。電話番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

補足

● ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に<＊>を押してください。

● 文字入力のしかたについては⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。

● リモートセットアップやウェブブラウザーからでも登録できます。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「リモートセットアップ」を参照してください。

● ポーズを入力するには、<再ダイヤル / ポーズ>を押します。液晶ディスプレイに「p」が表示されます。

● 登録内容を忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷して確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リストを印刷する」を参照してください。

● ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされている場合は、登録することができません。

ワンタッチダイヤルを登録する

20桁までの電話番号と20文字までの相手先の名称を1～8（最大8件）に登録することができます。

1 登録するワンタッチボタンを押して、<1>を押す

- 5～8に登録するときは、<シフト>を押しながらワンタッチボタンを押します。
- すでにワンタッチダイヤルが登録されている場合、登録内容が表示されます。登録内容を変更する場合は⇒47 ページ「ワンタッチダイヤルを編集する」を参照してください。
- <メニュー >→<2>→<3>→<1>からも登録することができます。

2 以下の手順で情報を登録する

1 **電話番号（20桁まで）を入力→<OK>**
カッコ「()」、ハイフン「-」は入力できません。

2 **名前を入力→<OK>**
- 名前は20文字まで登録できます。
- 名前を入力しない場合はそのまま <OK>を押してください。

3 **読みがなを入力→<OK>**

4 **<▲>または<▼>（ファクスの解像度を選択）→<OK>**
必要に応じて設定します。

短縮ダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルとは別に電話番号と相手先の名称を、001～200（最大200件）に登録することができます。

1 <▲>を押して、登録する短縮番号（001～200）をダイヤルボタンで入力した後、<1>を押す

- すでに短縮ダイヤルが登録されている場合、登録されている内容が表示されます。
- 登録内容を変更する場合は⇒ 48 ページ「短縮ダイヤルを編集する」を参照してください。
- <メニュー >→<2>→<3>→<2>からも登録することができます。

2 ⇒46 ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」の手順2に準じて必要な情報を登録する

グループダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録した複数の相手先を、まとめて1つのグループとして登録します。これをグループダイヤルといいます。
送信のたびに複数の相手先を指定する必要がなく、グループを指定するだけで送信できます。同報送信や順次ポーリング受信をするときに使うと便利です。
グループダイヤルは、1～8（最大8グループ）に登録することができます。

注意

グループダイヤルに登録するためには、あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを登録しておく必要があります。ダイヤル番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。
ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録方法については⇒ 46 ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」⇒46 ページ「短縮ダイヤルを登録する」を参照してください。

1 <メニュー >→<2>→<3>→<3>を押す

2 グループダイヤルとして登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを選択する

- **ワンタッチダイヤルに登録するとき**
ワンタッチボタンを押します。
5～8を登録するときは、<シフト>を押しながらワンタッチボタンを押します。
- **短縮ダイヤルに登録するとき**
<▲>を押して短縮番号（001～200）を入力した後、<OK>を押します。

3 グループ番号（1～8）をダイヤルボタンで入力して、<OK>を押す

すでに登録しているグループ番号を入力したときは「やり直してください」と表示されます。登録されていないグループ番号を選んでください。

4 グループに登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力して、<OK>を押す

1つのグループには、最大207件まで登録できます。

例）ワンタッチボタンの「4」と短縮ダイヤルの「009」をグループダイヤルに登録したい場合

- **ワンタッチボタンの「4」→<▲>→<0>→<0>→<9>の順に押します。**

5 以下の手順で情報を登録する

1 **グループ名を入力→<OK>**
グループ名は20文字まで登録できます。

2 **読みがなを入力→<OK>**

3 **<▲>または<▼>（ファクスの解像度を選択）→<OK>**
必要に応じて設定します。

6 <停止/終了>を押す

グループダイヤルとして使用されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを、さらに別のグループダイヤルの中に登録することはできません。

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を確認/登録する

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用して以下の機能が利用できます。

- 着信履歴を検索する
- 電話番号をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する
- 着信履歴リストを印刷する⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リストを印刷する」

1 <シフト>を押しながら<▼>を押す

2 <▲>または<▼>で電話番号を選択して<OK>を押す

確認の場合は、確認を終えたら手順6へ進んでください。

3 <OK>を押す

4 ワンタッチダイヤルに登録する場合は<1>を、短縮ダイヤルに登録する場合は<2>を押す

5 ⇒46 ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」の手順2の2から必要な情報を登録する

6 <停止/終了>を押す

補足

「外付け電話優先」でご使用の場合は、着信履歴が本製品に接続されている電話機に残りますので、本製品で着信履歴を利用することはできません。

電話帳を編集する

ワンタッチダイヤルを編集する

1 <メニュー>→<2>→<3>→<1>を押す

2 変更するワンタッチボタンを押して、<1>を押す

補足

ワンタッチダイヤルを削除するには

登録しているワンタッチダイヤルを削除するには、<2>→<1>→<停止/終了>を押してください。

3 以下の手順で情報を変更する

1 **電話番号（20桁まで）を入力→<OK>**
カッコ「()」、ハイフン「-」は入力できません。

2 **名前を入力→<OK>**
名前は20文字まで登録できます。

3 **読みがなを入力→<OK>**

4 **<▲>または<▼>（ファクスの解像度を選択）→<OK>**
必要に応じて設定します。

続けて編集する場合は、手順2～3を繰り返します。

補足

電話番号、名前、読みがな、またはファクスの解像度を変更しない場合は、そのまま<OK>を押してください。

4 **<停止/終了>を押す**

短縮ダイヤルを編集する

1 **<メニュー>→<2>→<3>→<2>を押す**

2 **変更する短縮番号をダイヤルボタンで入力して、<OK>を押した後、<1>を押す**

補足

短縮ダイヤルを削除するには

登録している短縮ダイヤルを削除するには、<2>→<1>→<停止/終了>を押してください。

3 **⇒47 ページ「ワンタッチダイヤルを編集する」の手順3に準じて必要な情報を変更する**

4 **<停止/終了>を押す**

グループダイヤルを編集する

1 **<メニュー>→<2>→<3>→<3>を押す**

2 **変更するグループが登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを選択する**

- ワンタッチダイヤルの場合は、ワンタッチボタンを押してください。
- 短縮ダイヤルの場合は、<▲>を押して短縮番号（001～200）を入力した後、<OK>を押してください。

3 **<1>を押す**

補足

グループダイヤルを削除するには

<2>→<1>→<停止/終了>を押してください。

4 **以下の手順でグループダイヤルを編集する**

グループダイヤルに宛先を追加する

追加するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力→<OK>

グループダイヤルから宛先を削除する

<◀>または<▶>（削除するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを選択）→<クリア>→<OK>

5 **⇒46 ページ「グループダイヤルを登録する」の手順5に準じて必要な情報を変更する**

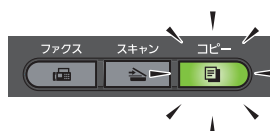
変更しないときは、そのまま<OK>を押します。

6 **<停止/終了>を押す**

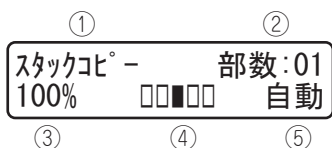
コピーの基本

コピーの流れ

基本的なコピー操作の流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　コピーモードに切り替える

操作パネルの <コピー> を押してコピーモードに切り替えます。コピー操作を行う場合には、必ずコピーモードになっていることを確認してください。

コピーモードに切り替えると、液晶ディスプレイはコピー標準画面に切り替わります。

①		②
ｽﾀｯｸｺﾋﾟｰ		部数:01
100%	□□■□□	自動
③	④	⑤

①：設定したコピーモード
②：コピー枚数
③：倍率
④：コントラスト
⑤：画質

STEP 2　原稿をセットする

原稿をセットするには次の 2 つの方法があります。

● ADF（自動原稿送り装置）にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してコピーできます。

原稿が正しくセットされると、液晶ディスプレイに「原稿ｾｯﾄ OK」が表示されます。

● 原稿台ガラスにセットする

1 枚ずつ原稿を読み取ります。本や厚みのある原稿などもコピーできます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

⇒ 33 ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

STEP 3　部数を入力する

部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力します。

コピー部数を取り消したいとき

＜クリア＞を押します。

STEP 4　コピー設定をする

必要に応じてコピーの仕上がりかたを設定します。

⇒ 51 ページ「コピー設定について」

● コピーの出力形式を設定したいとき

- ■ソートコピー　⇒ 52 ページ「1 部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」
- ■両面コピー　⇒ 52 ページ「両面コピーをする」
- ■レイアウトコピー（N in 1 コピー）⇒ 53 ページ「複数の原稿を 1 枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1 コピー）〕」

ソートコピーをしたいとき

ADF（自動原稿送り装置）を使ってコピーしてください。

● コピーの倍率を変更したいとき

- ■拡大･縮小コピー⇒ 51 ページ「拡大･縮小コピーをする」

● コピーの質を調整したいとき

- ■画質⇒ 54 ページ「画質を設定する」
- ■明るさ⇒ 55 ページ「明るさを設定する」
- ■コントラスト⇒ 55 ページ「コントラストを設定する」

STEP 5　スタートする

● ADF（自動原稿送り装置）からコピーするとき

＜スタート＞を押します。

正しく原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの読み取りがスタートします。

● 原稿台ガラスからコピーするとき

＜スタート＞を押します。

コピーを途中で中止したいとき

＜停止 / 終了＞を押します。

コピー設定について

必要に応じて、コピーの仕上げに関する設定を行います。
設定には「自分がコピーするときだけ一時的に設定するもの」と「設定内容を保存していつでも設定した内容でコピーするもの」の2種類があります。

分類	機能	一時的な設定（操作の入り口）	保存する設定（操作の入り口）	参照
倍率	拡大/縮小	<拡大/縮小>	−	⇒51 ページ「拡大･縮小コピーをする」
出力形式	ソートコピー	<オプション>→「スタック/ソート コピー」→「ソートコピー」	−	⇒52 ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」
	両面コピー	<両面>	−	⇒52 ページ「両面コピーをする」
	レイアウトコピー	<オプション>→「レイアウト コピー」→レイアウト	−	⇒53 ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕」
	2 in 1 IDコピー	<オプション>→「レイアウト コピー」→「2in1（IDカード）」	−	⇒54 ページ「2 in 1 IDコピーをする」
質	画質	<オプション>→「コピー画質」	<メニュー>→<3>→<1>	⇒54 ページ「画質を設定する」
	明るさ	<オプション>→「明るさ」	<メニュー>→<3>→<2>	⇒55 ページ「明るさを設定する」
	コントラスト	<オプション>→「コントラスト」	<メニュー>→<3>→<3>	⇒55 ページ「コントラストを設定する」

拡大･縮小コピーをする

一時的に倍率を変えてコピーすることができます。

1 **コピーモードに切り替えて、原稿をセットした後、部数を入力する**

2 **<拡大/縮小>を押し、<▲>または<▼>で倍率を選択して、<OK>を押す**

「カスタム（25−400%）」を選択したときは、ダイヤルボタンで倍率（25%～400%）を入力して<OK>を押してください。

3 **<スタート>を押す**

原稿によっては画像が欠ける場合があります。

1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕

コピーした記録紙を1部ごとにまとめて、ページ順に並べて出力します。
原稿はADF（自動原稿送り装置）にセットしてください。原稿台ガラスからソートコピーはできません。

ソートコピー

1 コピーモードに切り替えて、原稿をセットした後、部数を入力する

2 以下の手順でソートコピーを設定する

1 <オプション>
2 <▲>または<▼>（「スタック/ソート コピー」を選択）→<OK>
3 <▲>または<▼>（「ソートコピー」を選択）→<OK>

3 <スタート>を押す

補足

原稿の読み込み中に「メモリがいっぱいです」と表示されたときは⇒81 ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」を参照してください。

両面コピーをする

片面2枚の原稿を両面1枚にコピーすることができます。両面コピーはADF（自動原稿送り装置）から原稿送りさせることをお勧めします。
両面印刷ができる記録紙は、A4サイズ（60g/m^2～105g/m^2）です。

補足

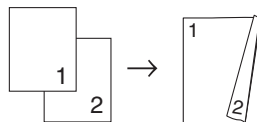
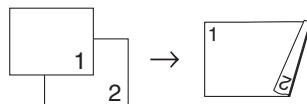
両面原稿を片面2枚や両面1枚にコピーすることはできません。

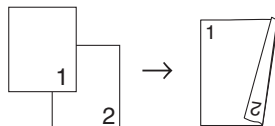
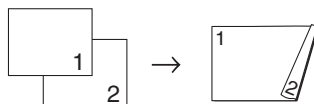
長辺綴じ

片面 → 両面
（縦長）

1 2 → 1 2

（横長）

1 2 → 1 2

短辺綴じ

片面 → 両面

1 コピーモードに切り替えて、原稿をセットした後、部数を入力する

2 以下の手順でコピー方法を設定する

1 <両面>
2 <▲>または<▼>（コピー方法を選択）→<OK>

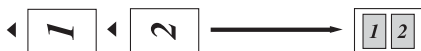
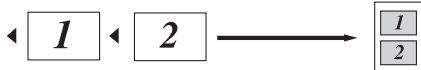
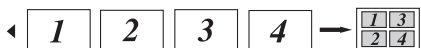
3 <スタート>を押す

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は<1>を押して、次の原稿をセットした後、<OK>を押します。
この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、<2>を押します。

複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕

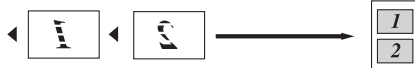
2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることができます。
コピーのしかたは以下の種類から選択できます。

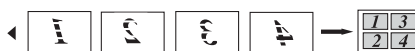
補足
2 in 1 IDコピーの場合は、⇒54 ページ「2 in 1 IDコピーをする」を参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）の場合

〈2in1（縦長）〉
〈2in1（横長）〉
〈4in1（縦長）〉

〈4in1（横長）〉

原稿台ガラスの場合

〈2in1（縦長）〉

〈2in1（横長）〉

〈4in1（縦長）〉

〈4in1（横長）〉

1 コピーモードに切り替えて、原稿をセットした後、部数を入力する

2 以下の手順でレイアウトコピーを設定する

1 <オプション>
2 <▲>または<▼>（「レイアウト　コピー」を選択）→<OK>
3 <▲>または<▼>（レイアウトを選択）→<OK>

3 <スタート>を押す

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は<1>を押して、次の原稿をセットした後、<OK>を押します。
この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、<2>を押します。

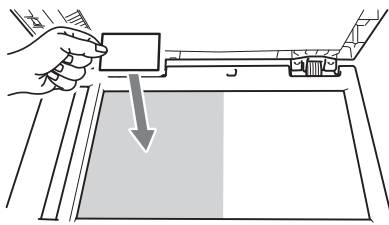
補足
- レイアウトコピー（N in 1コピー）では、拡大／縮小機能は使えません。
- 記録紙のサイズは「A4」または「USレター」がセットされていることを確認してください。

2 in 1 IDコピーをする

ID カードや身分証明書などカードサイズの裏表を、そのサイズのままコピーすることができます。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。ADF（自動原稿送り装置）からコピーはできません。

補足
IDカードや身分証明書などの個人情報の取り扱いには十分、注意してください。

1 コピーモードに切り替えて、部数を入力する

2 原稿台ガラスの左側（イラストのグレー部）に、裏向きにして印刷するカードを置く

3 以下の手順でレイアウトコピーを設定する

1 <オプション>
2 <▲>または<▼>（「レイアウト　コピー」を選択）→<OK>
3 <▲>または<▼>（「2 in 1（IDカード)」を選択）→<OK>

補足
「2 in 1（IDカード)」を選択すると、画質の設定は「写真」、コントラストの設定は「−□□□□■+」になります。

4 <スタート>を押す

カードの片面のスキャンが終わると、液晶ディスプレイに「IDカードを裏返してください　スタートボタンを押してください」と表示されます。

5 原稿台ガラスのカードを裏返して<スタート>を押す

画質を設定する

「コピー画質」の設定を変更します。
画質は以下の中から選択することができます。

- 「自動」
  自動的に画質を調整します。
- 「テキスト」
  薄い文字をはっきりと印刷します。
- 「写真」
  グラデーションをきれいに印刷します。
- 「カーボン」
  カーボン紙の文字をきれいに印刷します。

一時的に設定する

一時的に画質を変えてコピーすることができます。

1 コピーモードに切り替えて、原稿をセットした後、部数を入力する

2 以下の手順で画質を設定する

1 <オプション>
2 <▲>または<▼>（「コピー画質」を選択）→<OK>
3 <▲>または<▼>（画質を選択）→<OK>

3 <スタート>を押す

設定内容を保存する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 <メニュー >→<3>→<1>を押す

2 <▲>または<▼>で画質を選択して、<OK>を押す

<OK> を押すと、設定した内容が保存されます。

3 <停止/終了>を押す

明るさを設定する

一時的に設定する

「明るさ」の設定を変更します。

1 コピーモードに切り替えて、原稿をセットした後、部数を入力する

2 以下の手順で明るさを設定する

1 <オプション>
2 <▲>または<▼>（「明るさ」を選択）→<OK>
3 <◀>または<▶>（明るさを選択）→<OK>

3 <スタート>を押す

設定内容を保存する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 <メニュー>→<3>→<2>を押す

2 <◀>または<▶>で明るさを選択して、<OK>を押す

<▶>を押すと明るくなり、<◀>を押すと暗くなります。

3 <停止/終了>を押す

コントラストを設定する

「コントラスト」の設定を変更します。
コントラストは以下のように設定することができます。

- <▶>
  原稿の濃淡がよりはっきりとなります。
  （濃い部分はより濃く、薄い部分はより薄くなります。）
- <◀>
  原稿の濃淡の差が少なくなります。
  （濃い部分と薄い部分の差がなくなり、同じような濃淡になります。）

一時的に設定する

一時的にコントラストを変えてコピーすることができます。

1 コピーモードに切り替えて、原稿をセットした後、部数を入力する

2 以下の手順でコントラストを設定する

1 <オプション>
2 <▲>または<▼>（「コントラスト」を選択）→<OK>
3 <◀>または<▶>（コントラストを選択）→<OK>

3 <スタート>を押す

設定内容を保存する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 <メニュー>→<3>→<3>を押す

2 <◀>または<▶>でコントラストを選択して、<OK>を押す

<OK>を押すと、設定した内容が保存されます。

3 <停止/終了>を押す

プリントの基本

プリントの流れ

コンピューターからプリントする操作の流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　準備する（プリンタードライバーのインストール）

付属 CD-ROM の中にあるプリンタードライバーをインストールします。

⇒かんたん設置ガイド「STEP2 コンピューターに接続する」、
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

STEP 2　コンピューターで印刷を選択する

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

STEP 3　プリンターを選択する

［印刷］ダイアログボックスで本製品のプリンター名を選択し、［プロパティ］をクリックします。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

STEP 4　印刷内容を設定する

［プロパティ］ダイアログボックスで印刷の詳細を設定し［OK］をクリックします。

用紙サイズ、部数、用紙種類、解像度、レイアウト、両面印刷／小冊子印刷、給紙方法などを設定します。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

STEP 5　プリントを開始する

［OK］をクリックします。

スキャンの基本

スキャンの流れ

原稿をコンピューターに読み込みます。スキャンには、操作パネルからスキャンする方法とコンピューターからスキャンする方法があります。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　準備する（スキャナードライバーのインストール、ネットワーク設定）

スキャンする前に以下の 2 つを準備します。すでに準備が終了している場合は、STEP2 から操作してください。

● スキャナードライバーをインストールする

付属 CD-ROM の中にあるスキャナードライバーをインストールします。

⇒かんたん設置ガイド「STEP2 コンピューターに接続する」、
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

● ネットワークを設定する

ネットワークプリンターとして使用している場合は、ネットワークの設定は終了しています。
まだネットワークの設定が終了していない場合は本製品に TCP/IP を設定します。

⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「ネットワークの設定」

STEP 2　スキャンのしかたを決める

スキャンの目的や特長によってスキャンのしかたが異なります。ご都合に応じて最適なスキャン方法を決めてから操作を始めてください。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

STEP 3　原稿をセットする

原稿をセットするには次の 2 つの方法があります。

● ADF（自動原稿送り装置）にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してスキャンできます。

● 原稿台ガラスにセットする

1 枚ずつ手動でスキャンします。本や厚みのある原稿などもスキャンできます。

⇒ 33 ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

●操作パネルからスキャンする

以降の操作の詳細は以下を参照してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

STEP 4　スキャンモードに切り替える

操作パネルの < スキャン > を押してスキャンモードに切り替えます。

スキャン操作を行う場合には、必ずスキャンモードになっていることを確認してください。

STEP 5　スキャンの機能を選択する

機能を選択します

・スキャン to PC
（E メール／イメージ／ OCR ／ファイル）
・スキャン to FTP

STEP 6　保存先／送信先を選択する

スキャンしたデータの保存先／送信先を選択します。

USB 接続の場合は保存先の選択は必要ありません。必要に応じて画質やファイル名などを設定します。

STEP 7　スキャンを開始する

< スタート > を押します。

●コンピューターからスキャンする

以降の操作の詳細は以下を参照してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

STEP 4　アプリケーションでスキャンを選択する

アプリケーション側でスキャンボタンまたはスキャンメニューを選択します。

STEP 5　スキャンの詳細を設定する

ダイアログボックスで解像度、明るさ、画像の種類などスキャンの詳細を設定します。

STEP 6　スキャンを開始する

ダイアログボックスでスキャン開始を指示します。

3 日常のお手入れ

定期メンテナンス

下記の部品を定期的に清掃することをお勧めします。
• 記録紙トレイ　• 原稿台ガラス　• ドラムユニット　• コロナワイヤー　• 給紙ローラー

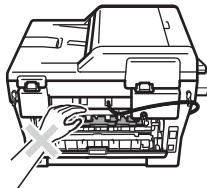
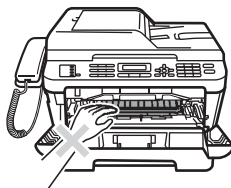
⚠ 警告

■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー　・殺虫スプレー　・アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど

■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

⚠ 注意

本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーまたはバックカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。

注意

■本製品の内部を操作するときは、イラストの矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■トナーカートリッジ、ドラムユニットを持つときは、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

<トナーカートリッジ>

<ドラムユニット>

■ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

本製品外部を清掃する

注意

■中性洗剤を使ってください。シンナーやベンジンを浸した布で拭かないでください。

■アンモニアの成分を含んでいる洗剤は使わないでください。

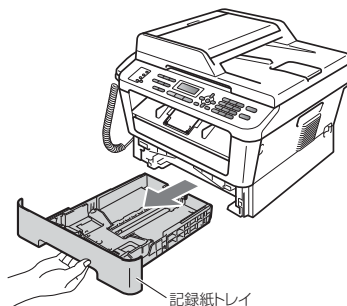
■操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネルにひびが入ったり、パネル上の印刷が消えたりすることがあります。

本製品は柔らかい布で軽く拭いてください。

1 電源スイッチをOFFにする

2 コード、ケーブルを取り外す

1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
2 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す
本製品の背面と壁側のコンセントを両方とも外してください。

3 記録紙トレイを完全に引き出して、記録紙を取り出す

4 清掃する

1 本製品の外側を拭く
2 記録紙トレイの内側と外側を拭く

5 記録紙をセットして、記録紙トレイを本製品に戻す

6 コードやケーブルを元の状態に戻す

1 接続していたケーブルを取り付ける
2 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する
3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

7 電源スイッチをONにする

原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する

いつもきれいな画質を得るためにスキャナーの清掃を行ってください。スキャナーが汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーがされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには、スキャナーを清掃してください。

警告

ベンジンやシンナー、可燃性スプレー、アルコールなどの有機溶剤、液体を使用しないでください。火災の原因になります。

注意

操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネル上の印刷が消えることがあります。

補足

清掃には水やぬるま湯を含ませた柔らかい布を固く絞ってご使用ください。

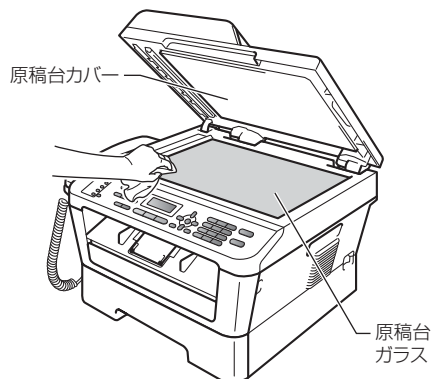
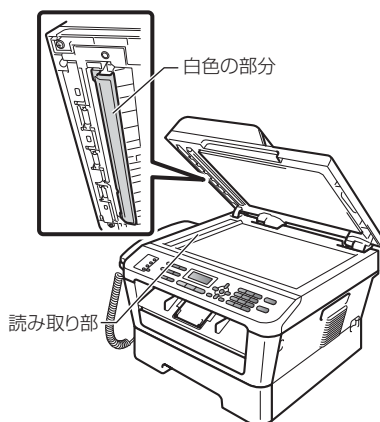
1 電源スイッチをOFFにする

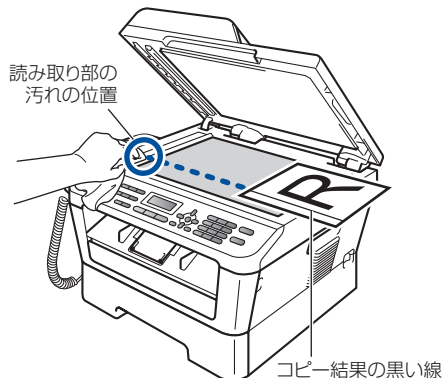
2 コード、ケーブルを取り外す

1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
2 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す
本製品の背面と壁側のコンセントを両方とも外してください。

3 原稿台カバーを開く

4 清掃する

1 原稿台ガラスと原稿台カバーを拭く

2 原稿台カバー（白い部分）とADF読み取り部を拭く

注意

■コピーで黒く細い線が入るときには、ADF 読み取り部の清掃を行ってください。非常に細かい汚れ（ボールペンのインクや修正液など）が付着している場合がありますので、ていねいに拭いてください。

■汚れが見えない場合は、ADF 読み取り部のガラスを手で触れて汚れの位置を確認し、水やぬるま湯を含ませた柔らかい布で念入りに拭いてください。最後にADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてコピーし、黒い線が消えたか確認してください。

5 **原稿台カバーを閉じる**

6 **コードやケーブルを元の状態に戻す**

1 接続していたケーブルを取り付ける
2 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する
3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

7 **電源スイッチをONにする**

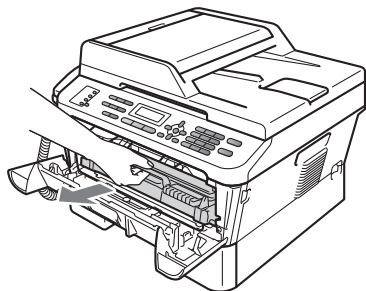
コロナワイヤーの清掃

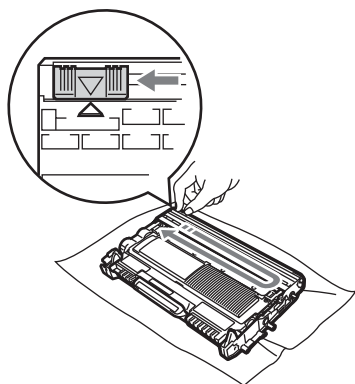
コロナワイヤーが汚れていると、印刷された画像が黒っぽく汚れたり、垂直の線が入ることがあります。印刷したページに汚れが入る場合は、コロナワイヤーを清掃してください。

1 **本製品の熱が冷めるまで 10分以上待つ**

本製品の電源が OFF の場合は、電源スイッチをONにします。

2 **フロントカバーを開ける**

3 ドラムユニットを取り出す

4 清掃する

1 緑色のつまみを2、3回往復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃する

2 緑色のつまみを元の位置（▲）に戻す
元の位置に戻っていないと、印刷した記録紙に縦縞が入る場合があります。

5 元の状態に戻す

1 ドラムユニットを本製品に戻す
2 フロントカバーを閉じる

ドラムユニットの清掃

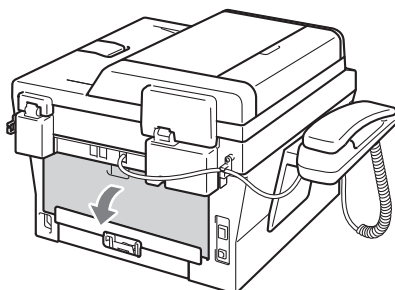
印刷したページに約94mm間隔で規則的な汚れが見つかったときは、ドラムユニットの清掃が必要です。

1 準備する

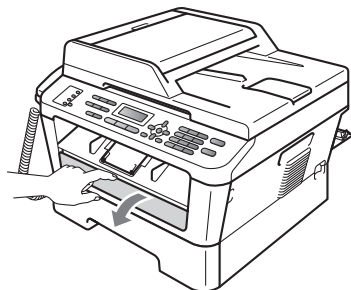
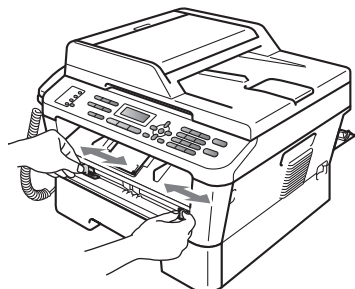
1 A4またはレターサイズの記録紙を用意する

- 記録紙は何も印刷されていないものを準備してください。
- 使用できない記録紙以外の記録紙を準備してください。⇒27ページ「使用できない記録紙」を参照してください。

2 本製品が待機状態であることを確認する

2 バックカバーを開ける

3 清掃する

1 <クリア>と<メニュー>を同時に押す
液晶ディスプレイに「ドラム クリーニング」と表示されます。

2 手差しスロットカバーを開ける

3 手差しガイドを両手で持って、用意した記録紙のサイズに合わせる

4 記録紙を両手で持って、手差しスロットから挿入する

- 記録紙が給紙ローラーにつきあたるまで入れ、記録紙が少し引き込まれるまでそのままの状態で待ちます。
  本製品が自動的に給紙を始めたら、記録紙から手を離します。
- ドラムクリーニングを開始します。

補足

- 記録紙は、手差しスロットの適切な位置にまっすぐ挿入してください。記録紙が正しく給紙されないと、紙づまりを起こす恐れがあります。
- 記録紙は1枚ずつ挿入してください。
- ドラムクリーニング中は、バックカバーを閉じないでください。紙づまりを起こす恐れがあります。
- ドラムクリーニング中は、通常時とは異なる音が発生しますが故障ではありません。
- 本製品が印刷データを受け取った場合は、ドラムクリーニングを終了してから、印刷データを印刷します。
- 手差しスロットに A4 またはレターサイズ以外の記録紙がある場合は、ドラムクリーニングを中止し記録紙を排出します。

5 本製品が待機状態であることを確認する

ドラムクリーニングが終了すると本製品は待機状態に戻ります。

6 新しい記録紙を使用して、前ページ手順3の1～4を2回以上繰り返す

用意する記録紙は毎回、新しいものを使用してください。

4 元の状態に戻す

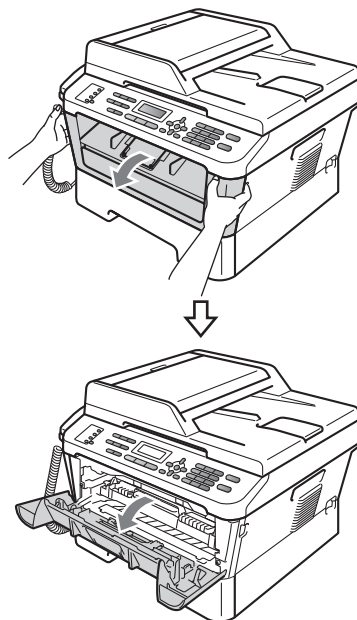
1 手差しスロットカバーを閉じる

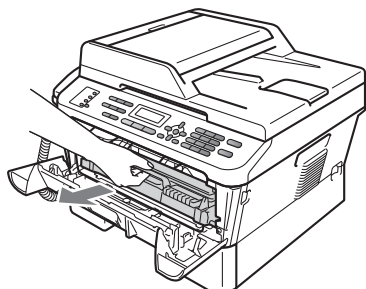
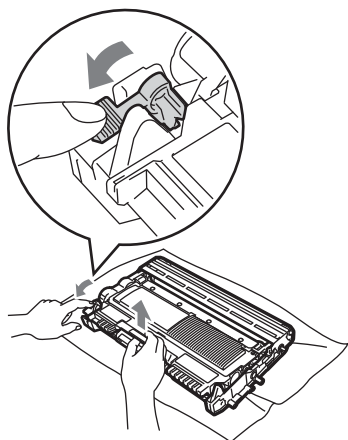
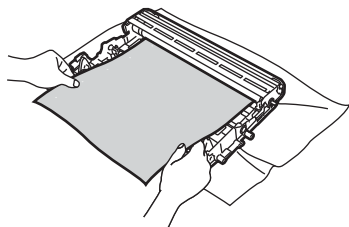
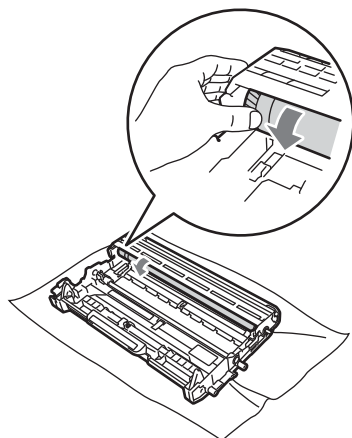
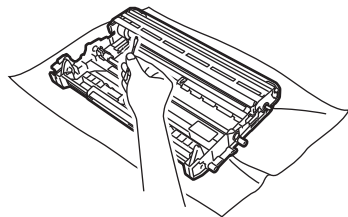
2 バックカバーを閉じる

まだ問題が解決しない場合

1 本製品の熱が冷めるまで 10分以上待つ

本製品の電源が OFF の場合は、電源スイッチをONにします。

2 フロントカバーを開ける

3 清掃する

1 ドラムユニットを取り出す

2 緑色のロックレバーを押しながら、トナーカートリッジをドラムユニットから取り出す

3 ドラムユニットの前に印刷した記録紙を置いて、感光ドラムの表面に汚れが付いている場所を探す

4 ドラムユニットの歯車を手前にゆっくり回しながら、感光ドラムの汚れの場所を手前にする

5 感光ドラムの表面に付いた汚れや付着物を綿棒で拭き取る

注意

- 感光ドラムの表面は指で触れないでください。
- 感光ドラムの表面を尖ったもので拭かないでください。
- 電動器具は使用しないでください。

4 元の状態に戻す

1 トナーカートリッジがロックされるようにドラムユニットに戻す
2 ドラムユニットを本製品に戻す
3 フロントカバーを閉じる

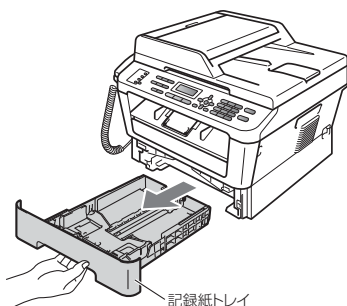
給紙ローラーの清掃

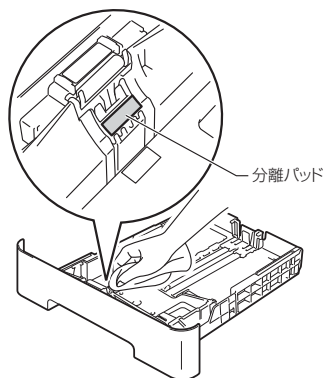
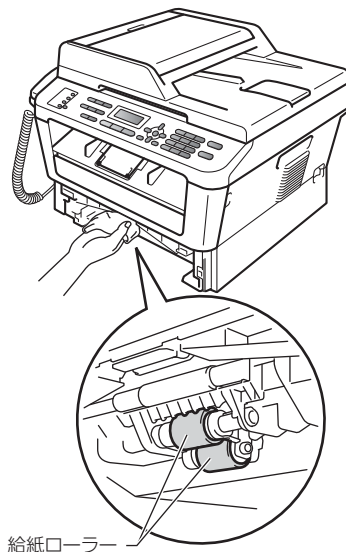
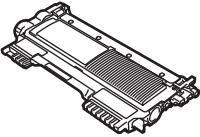
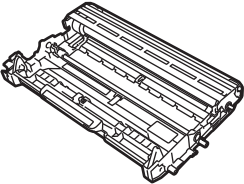
給紙ローラーが汚れていると、記録紙をうまく給紙しないことがあります。その場合は、次の手順で給紙ローラーを清掃してください。

1 電源スイッチをOFFにする

2 コード、ケーブルを取り外す

1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
2 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す
本製品の背面と壁側のコンセントを両方とも外してください。

3 記録紙トレイを完全に引き出して、記録紙を取り出す

4 清掃する

1 水または、ぬるま湯を浸した柔らかい布を固く絞り、記録紙トレイ内の分離パッドを拭く

2 本製品内部にある給紙ローラー(2つ)を拭く

5 記録紙をセットして、記録紙トレイを本製品に戻す

6 コードやケーブルを元の状態に戻す

1 接続していたケーブルを取り付ける
2 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する
3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

7 電源スイッチをONにする

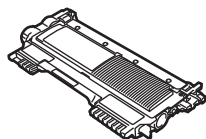
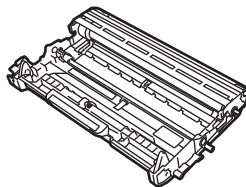
消耗品の交換

消耗品

トナーカートリッジ（TN-27J）	ドラムユニット（DR-22J）
⇒71 ページ	⇒74 ページ

トナーカートリッジとドラムユニットについて

注意

本製品では、画像を作成するドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けて使用する仕組みになっています。トナーの残量がなくなったり、ドラムユニットが寿命により使用できなくなったりしたときには、必ず分離して、使用できなくなった部品のみを廃却し交換してください。

交換のしかたについては、⇒71 ページ「トナーカートリッジの交換」、または⇒74 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

補足

本製品に付属のスタータートナーカートリッジは、約700枚※印刷できます。
トナーカートリッジ（TN-27J）は、約2,600枚※印刷できます。
ドラムユニット（DR-22J）は約12,000枚印刷できます。
※ 印刷可能枚数はJIS X 6931（ISO/IEC 19752）*規格に基づく公表値を満たしています。
　* JIS X 6931（ISO/IEC 19752）とはモノクロ電子写真方式プリンター用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。

トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法

お近くの家電量販店で取り扱っておりますが、インターネット、電話による注文も承っております。

【ご注文先】

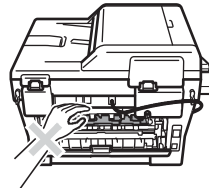
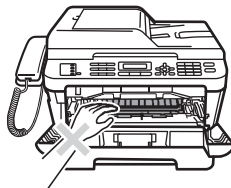
ブラザー販売（株）ダイレクトクラブ
インターネット：http://direct.brother.co.jp
携帯サイト　　：右の二次元コードにアクセス
フリーダイヤル：０１２０－１１８－８２５
（土・日・祝日、長期休暇を除く9時～12時、13時～17時）

トナーカートリッジとドラムユニット交換時の注意

警告

- ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。また、火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。
- 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。
  また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
  可燃性スプレーの例は次のとおりです。
  ・ほこり除去スプレー　・殺虫スプレー　・アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど
- トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

注意

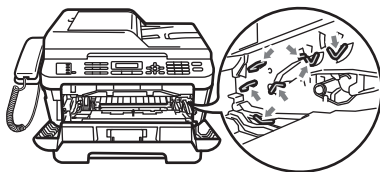
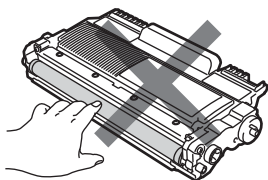
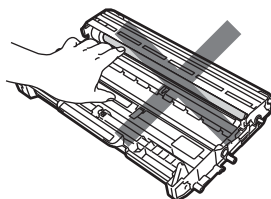
本製品の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーまたはバックカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。

注意

■トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

■トナーカートリッジは、製品本体の性能を活かすためブラザー純正品（型番：TN-27J）をご使用ください。⇒68 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

■使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、アルミニウムバッグ※に入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。⇒20 ページ「消耗品（トナーカートリッジ、ドラムユニット）の回収リサイクルについて」を参照してください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。

■使用済みのトナーカートリッジにはトナーの粉が残っている場合があるので、取り扱いには注意してください。

■本製品の内部を操作するときは、イラストの矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

■トナーカートリッジ、ドラムユニットを持つときは、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

＜トナーカートリッジ＞　　＜ドラムユニット＞

■ドラムユニットは本製品に取り付ける直前に開封してください。

■ドラムユニットは、製品本体の性能を活かすためブラザー純正品（型番：DR-22J）をご使用ください。⇒68 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

■開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。

■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグ※に入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。⇒20 ページ「消耗品（トナーカートリッジ、ドラムユニット）の回収リサイクルについて」を参照してください。また、地域の規則に従って廃棄してください。

※新品のトナーカートリッジ、またはドラムユニットが入っていた袋をご利用ください。

トナーカートリッジの交換

ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。⇒20 ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。

トナーカートリッジ交換のメッセージ

本製品はトナーカートリッジの寿命を検知し、交換時期が近づくと液晶ディスプレイに表示して、お知らせします。
トナーが交換時期に近づくと、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

まもなくトナー交換

補足

液晶ディスプレイに「まもなくトナー交換」のメッセージが表示されたときは、トナーカートリッジの交換時期が近づいています。新しいトナーカートリッジを購入し、「トナー交換」が表示される前に準備しておいてください。

さらに使い続けると液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

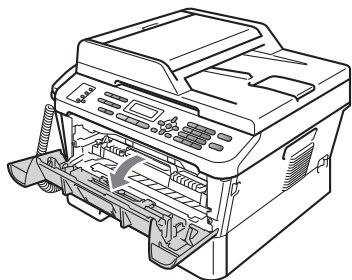
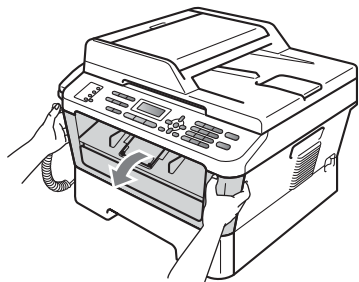
トナー交換

一度この表示になるとトナーカートリッジを交換しないと印刷やコピーができなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

補足

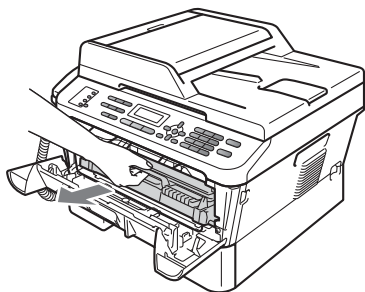
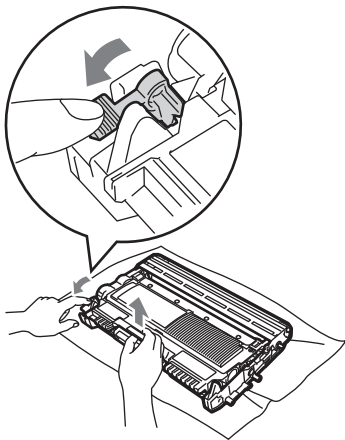
お近くでトナーカートリッジが手に入らないときは、⇒69 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法」を参照してください。

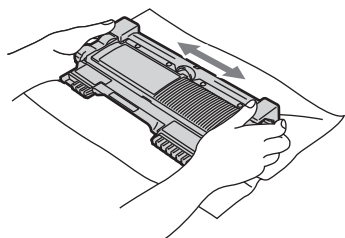
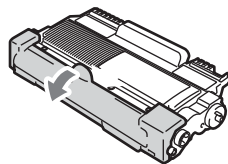
トナーカートリッジを交換する

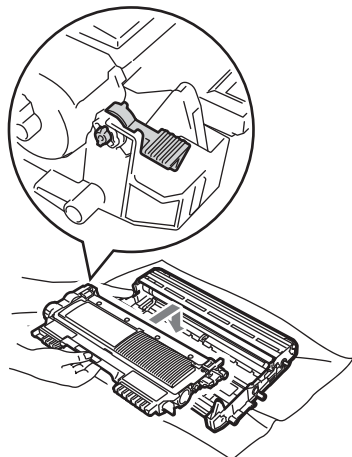
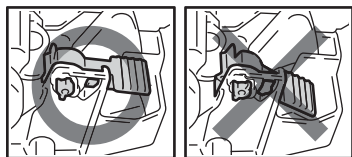
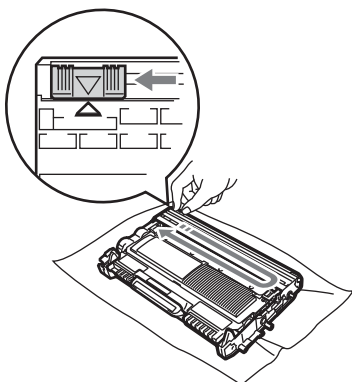
1 本製品の熱が冷めるまで 10分以上待つ

本製品の電源がOFFの場合は、電源スイッチをONにします。

2 フロントカバーを開ける

3 トナーカートリッジを取り出す

1 ドラムユニットを取り出す

2 緑色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す

4 交換する

1 新しいトナーカートリッジを開封し、トナーが均等になるように左右に5～6回ゆっくりと振る

2 保護カバーを取り除く

3 トナーカートリッジがロックされるように ドラムユニットに取り付ける

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、緑色のロックレバーが自動的に上がります。

4 緑色のつまみを2、3回往復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃する

5 緑色のつまみを元の位置（▲）に戻す

元の位置に戻っていないと、印刷した記録紙に縦縞が入る場合があります。

5 元の状態に戻す

1 ドラムユニットとトナーカートリッジを元の位置に戻す

2 フロントカバーを閉じる

注意

液晶ディスプレイに「お待ちください」と表示されますので、そのままお待ちください。途中で本製品の電源スイッチをOFFにしたり、フロントカバーを開けると、新しいトナーを検知できない場合があります。

トナー停止のメッセージ

液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。

トナー停止

新しいトナーカートリッジに交換するまで、本製品は印刷を停止します。

⇒72 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

補足

- 本製品を連続印刷設定にすると液晶ディスプレイに「ﾄﾅｰ停止」と表示されるまで、印刷し続けることができます。
  液晶ディスプレイに「ﾄﾅｰ交換」と表示された後で印刷を続けたいときは、<メニュー>→<1>→<8>を押して、「ﾄﾅｰ継続使用」を「ｵﾝ」に設定してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「トナー設定」を参照してください。
- トナー継続使用を「ｵﾝ」にした場合、印刷結果がかすれる、印刷されたページに、白い線が縦方向に現れるなど印刷結果に影響が出る場合があります。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「トナー設定」を参照してください。

ドラムユニットの交換

本製品は、ドラムの回転数によってドラムユニットの交換時期が決定され、あらかじめ設定されている回転数に達すると、液晶ディスプレイにドラムユニットの交換を促がすメッセージが表示されます。印刷を続けることもできますが、印刷品質が低下します。
ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。詳しくは⇒20 ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。

ドラムユニット交換のメッセージ

液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、コロナワイヤーが汚れています。

ドラムエラー

コロナワイヤーを清掃してください。⇒63 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
コロナワイヤーを清掃しても「ドラムエラー」表示が消えない場合は、新しいドラムユニットを購入し、交換してください。
⇒75 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、新しいドラムユニットに交換してください。

ドラム交換

新しいドラムユニットに交換してください。
ドラムユニットを交換したときは、ドラムユニットのカウンターをリセットしてください。

液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、印刷品質を保証できません。

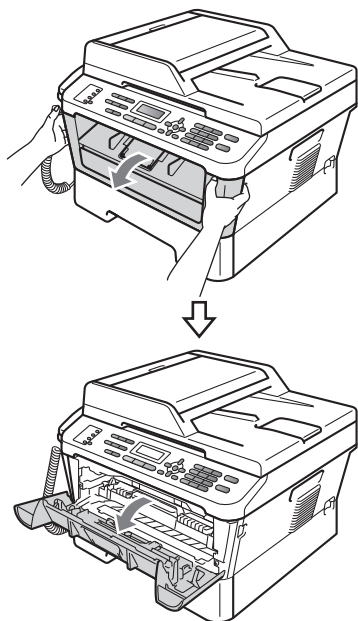
ドラム停止

新しいドラムユニットに交換してください。
ドラムユニットを交換したときは、ドラムユニットのカウンターをリセットしてください。
⇒76 ページ「ドラムユニットのカウンターをリセットする」を参照してください。

補足

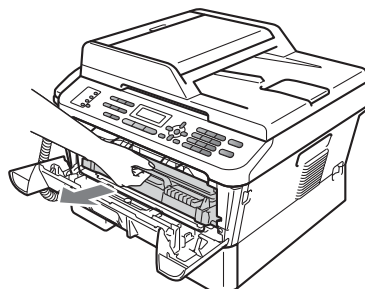
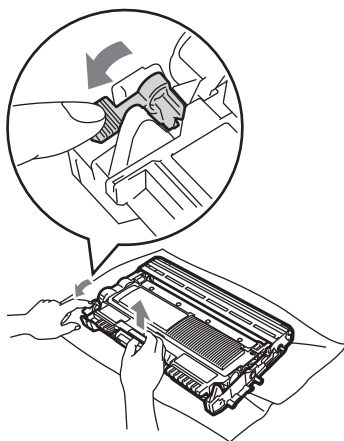
- ドラムユニットの交換時期に影響する要因は、温度や湿度、記録紙の種類、使用するトナーの種類、印刷ジョブごとの印刷枚数などです。理想的な印刷条件下での平均的なドラムユニットの交換周期は約 12,000 枚です。実際のドラムユニットの印刷可能枚数は、印刷条件によってはこの数字よりも大幅に少ないこともあります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- 最良の性能を発揮させるために、ブラザー純正ドラムユニットおよびトナーカートリッジを使用してください。本製品は、清潔でちりやほこりが発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。
- ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをお勧めします。
⇒60 ページ「定期メンテナンス」を参照してください。

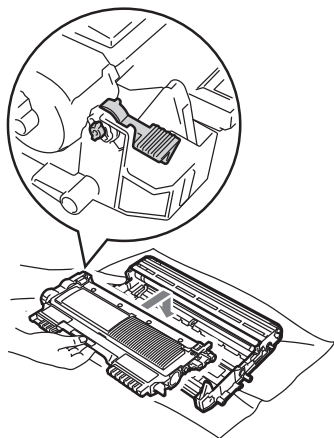
ドラムユニットを交換する

1 本製品の熱が冷めるまで 10分以上待つ

本製品の電源がOFFの場合は、電源スイッチをONにします。

2 フロントカバーを開ける

3 トナーカートリッジを取り出す

1 ドラムユニットを取り出す

2 緑色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す

4 交換する

1 新しいドラムユニットを開封する
2 トナーカートリッジを新しいドラムユニットに取り付ける
正しく装着されるとカチッと音が鳴り、ロックレバーが自動的に上がります。

5 ドラムユニットとトナーカートリッジを元の位置に戻す

ドラムユニットのカウンターをリセットするため、フロントカバーは閉じないでください。

ドラムユニットのカウンターをリセットする

1 <クリア>を押す

2 <1>を押す

液晶ディスプレイに「受付けました」と表示されます。

3 フロントカバーを閉じる

本製品を再梱包するときは

補足

- 輸送中の破損を防ぐために、お買い上げ時に使用されていた梱包材を使用してお買い上げ時の状態に再梱包してください。お買い上げ時に使用されていた梱包材は、開梱時に捨てずに大切に保管しておいてください。
- 本製品には、相応の輸送保険を掛けてください。

1 電源スイッチをOFFにし、10分以上待つ

2 コード、ケーブルを取り外す

1 すべてのケーブルを取り外す

2 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す

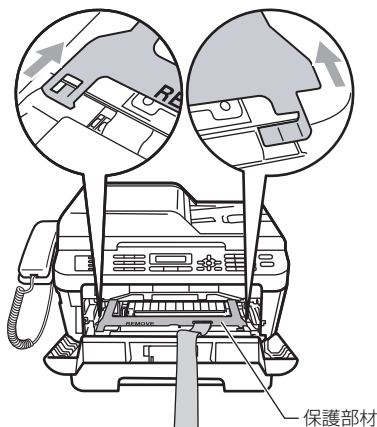
本製品の背面と壁側のコンセントを両方とも外してください。

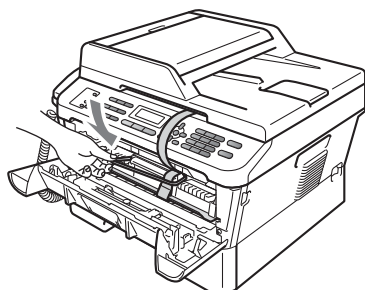
3 保護部材を取り付ける

1 フロントカバーを開く

2 ドラムユニット&トナーカートリッジを取り出す

3 保護部材を取り付ける

保護部材の「REMOVE」の文字を左側にして、イラストのように保護部材の両端を本製品に取り付けてください。

4 ドラムユニット&トナーカートリッジを本製品に取り付ける

5 輪ゴムをドラムユニット&トナーカートリッジにイラストのように取り付ける

6 フロントカバーを閉じる

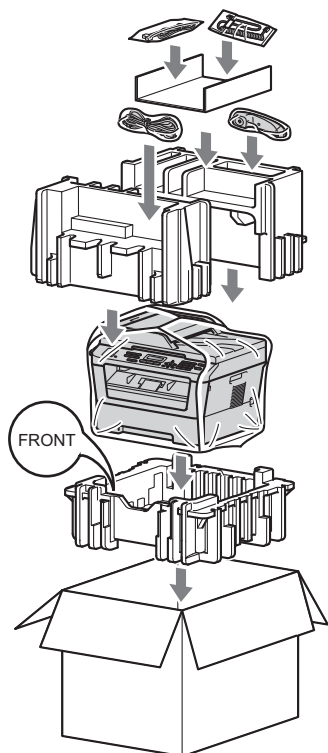
7 受話器と受話器コードを取り外す

4 本製品や付属品を梱包する

1 本製品をビニール袋に入れる

2 発泡スチロールに本製品をセットし、外箱に入れる

発泡スチロールの「FRONT」と本製品の前面を合わせてセットしてください。

3 電源コード、受話器、受話器コード、および取扱説明書などをセットする

4 箱を閉じ、テープを貼って完全に閉じる

困ったときには

解決のステップ～修理依頼される前に～

本製品を使用中にトラブルが起きたときの解決までのステップを説明します。
修理依頼される前にここを読んでみてください。

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）

本製品や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに対処方法が液晶ディスプレイに表示されます。液晶ディスプレイに表示された対処方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、エラーメッセージを控えた後でお客様相談窓口へ連絡してください。

① 原稿詰まり ADF
② 詰まった紙を取り除いて停止ホ

①：エラー内容など
②：エラーの対処方法など

液晶ディスプレイ表示	解決方法
印刷できません	**電源スイッチを OFF にして、数分間 OFF のままにした後、もう一度 ON にしてください** メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。 **本製品の電源スイッチを OFF にし、フロントカバーを完全に開けます。そのままの状態で 30 分放置し、結露で発生した水気を取り除いた後、フロントカバーを閉じて、電源を入れ直してください**
カバーが開いています	**定着ユニットカバーを完全に閉じてください** バックカバーを開けて、定着ユニットカバーを閉め直してください。 **フロントカバー、または ADF（自動原稿送り装置）カバーを完全に閉じてください**
紙詰まり　後ろ	**本製品の背面でつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 90 ページ「背面に記録紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり　トレイ	**記録紙トレイでつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 89 ページ「記録紙トレイに記録紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり　内部	**本製品の内部でつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 91 ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり　両面	**記録紙トレイの裏側につまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 93 ページ「両面印刷ユニットまたは定着ユニットに記録紙がつまったとき」を参照してください。

液晶ディスプレイ表示	解決方法
気温が低すぎます	**室温を上げてください** 本製品の使用環境は、温度：10 ～ 32.5 ℃、湿度：20 ～ 80 %（結露なきこと）です。使用環境に合わせ、設置場所を変えるなどしてください。
記録エラー回復中	**ファンの音を聞き、回転しているかどうか確認してください** ファンが回転している場合は、排気口が塞がれていないか確認してください。排気口の前に障害物があるときは取り除き、電源スイッチを ON にしたまま約 10 分お待ちください。 ファンが回転していない場合は、電源スイッチを OFF にして、数分間 OFF のままにした後、もう一度 ON にしてください。メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても消去されません。
記録紙を送れません	**記録紙を補給するか、記録紙を正しくセットしてください** 問題が解決しない場合は、給紙ローラーが汚れている可能性があります。給紙ローラーを清掃してください。⇒ 67 ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。 **手差しスロットの記録紙を正しくセットしてください**
原稿詰まり ADF	**ADF(自動原稿送り装置) につまっている原稿を取り除いてください** 原稿を取り除いたら、＜停止 / 終了＞を押してください。 **読み込む原稿を短くして、読み込ませてください** ＜停止 / 終了＞を押して、原稿をセットし直してください。
サイズ エラー 両面	**正しい記録紙をセットしてください** 両面印刷できない記録紙がセットされている可能性があります。確認して正しい記録紙をセットしてください。
初期化できません	**電源スイッチを OFF にして、数分間 OFF のままにした後、もう一度 ON にしてください** メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。
スキャンできません	**電源スイッチを OFF にして、数分間 OFF のままにした後、もう一度 ON にしてください** メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。
切断されました	**少し時間を置いて、もう一度、送信または受信をしてください**

液晶ディスプレイ表示	解決方法
通信エラー	**相手先のポーリング設定を確認してください** **別のファクスから送信するか、接続をしなおして送信できるか確認してください** 電話回線の状況が悪くなっているか、接続が誤っている可能性があります。通信できない場合は、お客様相談窓口へご連絡ください。
手差し印刷	**手差しスロットに記録紙を入れてください** ⇒ 30 ページ「手差しスロットに記録紙をセットする」を参照してください。 **プリンタードライバーの「給紙方法」が「手差し」に設定されていないか、確認してください** ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編を参照してください。
登録されていません	**ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録してください** ⇒ 45 ページ「電話帳の基本」を参照してください。
トナーが確認できません	**ドラムユニットを取り出し、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り出してください** 再度トナーカートリッジをドラムユニットに戻し、ドラムユニットを本製品に戻してください。
トナーがセットされていません	**トナーカートリッジを正しく取り付けてください** ドラムユニットを取り外し、トナーカートリッジを正しく取り付けてください。
トナー交換	**トナーカートリッジを交換してください** ⇒ 71 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 「トナー継続使用」を「オン」に設定しているときは、液晶ディスプレイに「トナー停止」と表示されるまで、本製品は印刷を続けます。本製品を連続印刷設定で使用するには、⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
ドラムエラー	**コロナワイヤー（ドラムユニット）を掃除してください** ⇒ 63 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 **ドラムユニットを交換してください** ⇒ 74 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
ドラム交換	**ドラムユニットの交換時期です** 印刷品質が目立って低下したら消耗品を交換してください。 **ドラムユニットのカウンターをリセットしてください** ⇒ 76 ページ「ドラムユニットのカウンターをリセットする」を参照してください。

液晶ディスプレイ表示	解決方法
ドラム停止	**ドラムユニットを交換してください** ⇒ 74 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
話し中 / 応答がありません	**電話番号を確認し、もう一度かけなおしてください**
ヒーターエラー	**電源スイッチを OFF にします。2 ～ 3 秒後、もう一度、電源スイッチを ON にして、そのまま 15 分お待ちください** メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても消去されません。
まもなくトナー交換	**新しいトナーカートリッジを購入し、「トナー交換」が表示される前に準備しておいてください**
メモリがいっぱいです	**ファクス送信・コピー実行中のとき** < 停止 / 終了 > を押してからもう一度試してください。原稿が複数枚の場合は、< スタート > を押して読み込まれた分だけを送信もしくはコピーしてください。 **印刷中のとき** < キャンセル > を押し、受信できなかったジョブデータを消去してからもう一度試してください。 セキュリティ印刷のデータを保存している場合、印刷するかデータを消去してメモリの空き容量を確保してください。 または、文書の文字量を減らすか、解像度を下げてからもう一度試してください。
両面印刷できません	**バックカバー、または両面トレイを完全に閉じてください**
用紙サイズが合いません	**正しい記録紙をセットしてください** メニューの記録紙サイズ設定で設定した記録紙とトレイにセットしている記録紙が違う可能性があります。確認して正しい記録紙をセットしてください。
用紙サイズが違います	**記録紙サイズを A4 に設定してください** ファクス受信時、A4 以外の記録紙が設定されている可能性があります。確認して記録紙の設定を A4 にしてください。

紙がつまった！

紙づまりのときのメッセージ

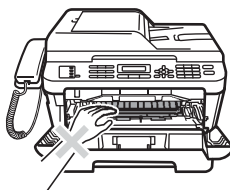
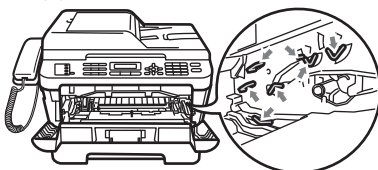
液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

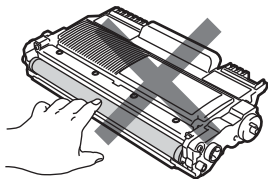
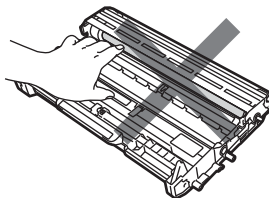
原稿がつまったとき ⇒87 ページ「原稿がつまったとき」を参照してください。	**原稿詰まり ADF** **詰まった紙を取り除いて停止ボタンを押してください。**
記録紙がつまったとき ⇒89 ページ「記録紙がつまったとき」を参照してください。	**紙詰まり XXXX** **XXXXXXX**

“XXXXXXX”は、紙づまりの場所によって表示が異なります。

注 意

本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーまたはバックカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。

注 意

■本製品の内部を操作するときは、イラストの矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■トナーカートリッジ、ドラムユニットを持つときは、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

＜トナーカートリッジ＞

＜ドラムユニット＞

■ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■つまった記録紙を引き抜くときに無理な力をかけないでください。次に印刷されるページにトナーが飛び散ることがあります。

■つまった記録紙の表面には触れないでください。トナーで手や衣服が汚れるおそれがあります。

補足

使用できない記録紙は紙づまりや故障の原因になります。⇒27 ページ「使用できない記録紙」を参照してください

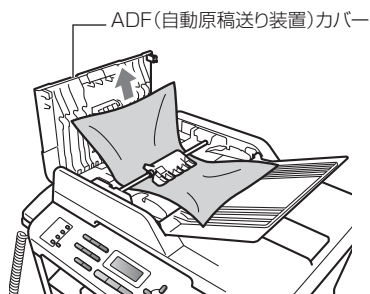
原稿がつまったとき

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまっています。

```
原稿詰まり ADF
詰まった紙を取り除いて停止ホ
```

ADF（自動原稿送り装置）の入口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

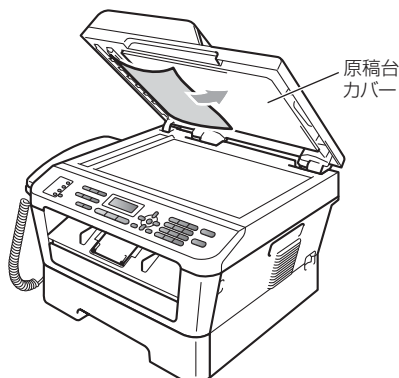
2 ADF（自動原稿送り装置）カバーを開き、つまった原稿をゆっくり上に引いて取り除く

3 ADF（自動原稿送り装置）カバーを閉じる

ADF（自動原稿送り装置）カバーの中心を押して、左右が閉じていることを確認してください。

4 <停止/終了>を押す

ADF（自動原稿送り装置）内で原稿がつまったときは

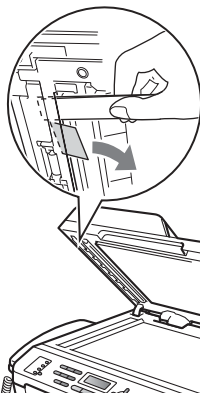
1 送り込まれていない原稿を取る

2 原稿台カバーを開き、つまった原稿をゆっくり引き出す

3 原稿台カバーを閉じる

4 <停止/終了>を押す

ADF（自動原稿送り装置）内に破れた原稿（紙片）などがつまったときは

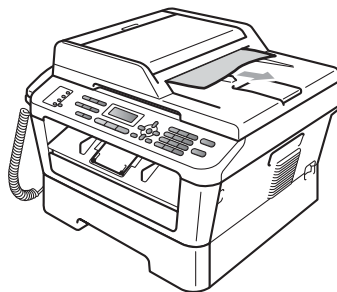
1 原稿台カバーを開く

2 かたい紙などを使い、破れた原稿（紙片）を取り出す

3 原稿台カバーを閉じる

4 <停止/終了>を押す

ADF（自動原稿送り装置）の出口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 つまった原稿をゆっくり引き出す

3 <停止/終了>を押す

記録紙がつまったとき

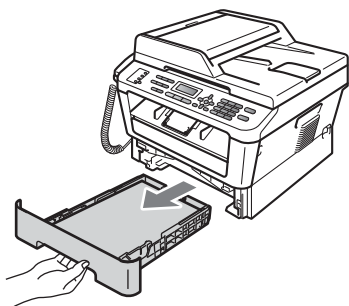
記録紙トレイに記録紙がつまったとき

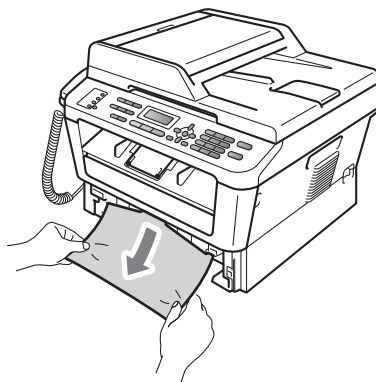
液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、記録紙トレイに記録紙がつまっています。

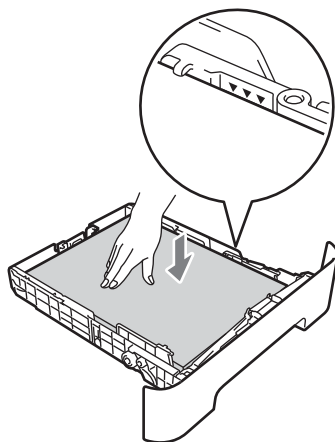
```
紙詰まり トレイ
トレイを引き出し、詰まった用紙
```

補足

つまった記録紙を取り除いたときに記録紙が破れた場合は、本製品の内部に記録紙が残っていないか確認してください。⇒91 ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。

1 本製品から記録紙トレイを完全に引き出す

2 つまった記録紙を取り除く

両手で静かに引き出してください。

3 記録紙が記録紙トレイに正しく入っているかを確認する

- 記録紙がトレイの中で平らになっていること、▼▼▼マークより下の位置にあることを確認してください。
- 緑色の記録紙ガイドが、使用する記録紙の表示位置になっているかを確認してください。
- 緑色の記録紙ガイドのツメが、溝にしっかりはまっているかを確認してください。

4 記録紙トレイを本製品に戻す

印刷が始まらないときは<スタート>を押してください。

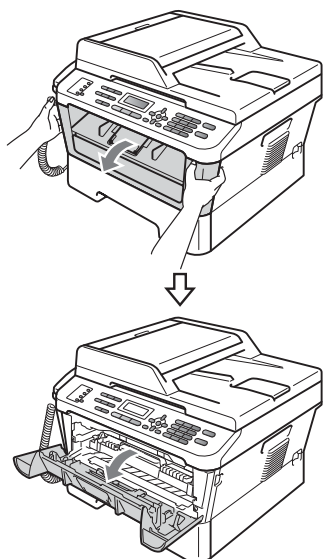
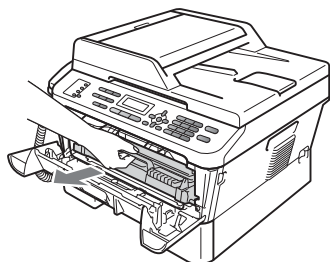
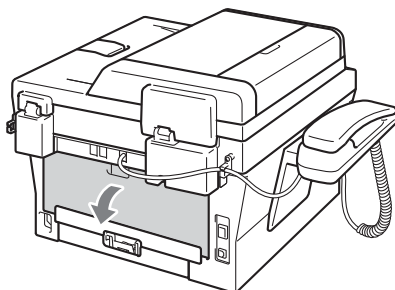
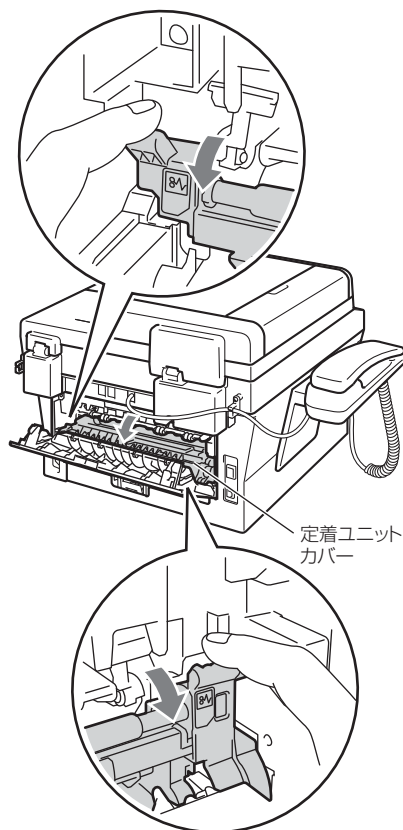
背面に記録紙がつまったとき

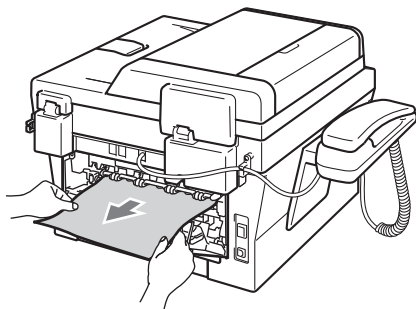
液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、バックカバー内に記録紙がつまっています。

```
紙詰まり 後ろ
バ゛ックカバ゛ーを開けて、詰まった
```

1 本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

本製品の電源がOFFの場合は、電源スイッチをONにします。

2 フロントカバーを開ける

3 ドラムユニットを取り出す

4 バックカバーを開ける

5 左右のレバーを下げ、定着ユニットカバーを開く

6 つまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

補足

つまった記録紙を取り除くことができないときは、本製品の内部からつまった記録紙を取り除いてください。詳しくは、⇒91 ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。

7 元の状態に戻す

1 定着ユニットカバーとバックカバーを閉じる
2 ドラムユニットを本製品に戻す
3 フロントカバーを閉じる

印刷が始まらないときは<スタート>を押してください。

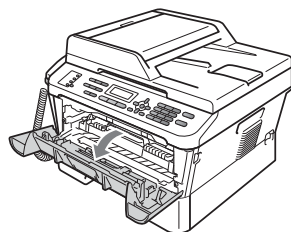
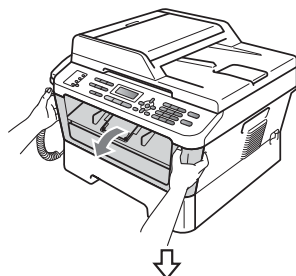
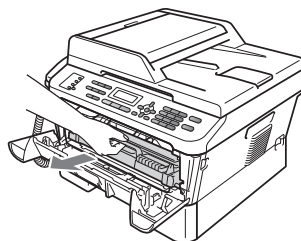
本製品の内部に記録紙がつまったとき

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、本製品の内部に記録紙がつまっています。

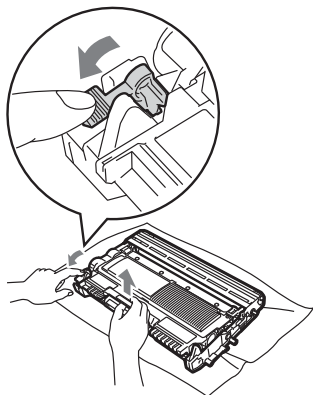
紙詰まり 内部
フロントカバーを開けてドラムユニ

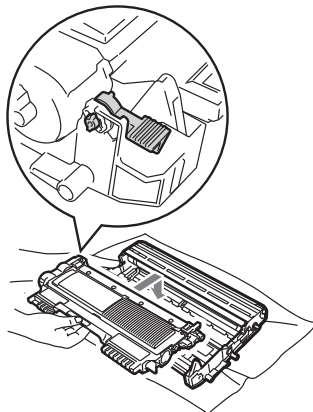
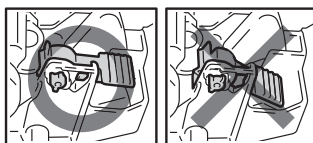
1 本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

本製品の電源がOFFの場合は、電源スイッチをONにします。

2 フロントカバーを開ける

3 ドラムユニットを取り出す

ドラムユニットが取り出せないときは、無理に取り出そうとせずに手順7へ進んでください。

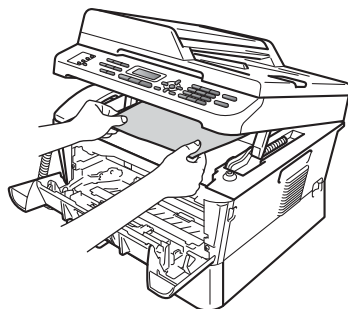
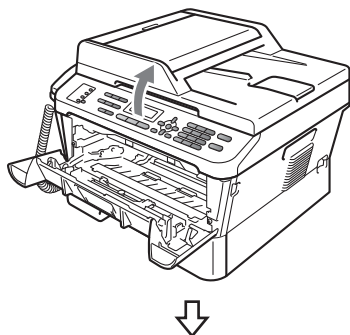
4 緑色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す

ドラムユニット内部につまった記録紙があるときは取り除いてください。

5 トナーカートリッジをドラムユニットに装着する

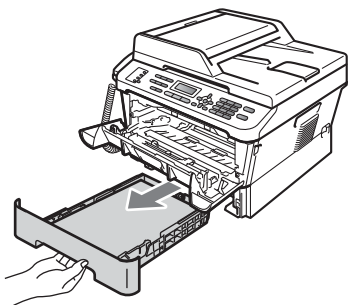
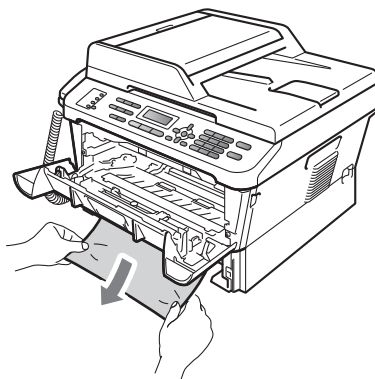
正しく装着されるとカチッと音が鳴り、ロックレバーが自動的に上がります。

6 つまった記録紙がないか確認する

- つまった記録紙がトナーカートリッジまたはドラムユニット内で取り出せたときは、ドラムユニットを本製品に戻してフロントカバーを閉じてください。
- 印刷が始まらない場合は<スタート>を押してください。
- 印刷が始まらない、または<スタート>を押しても印刷が始まらないときは、本製品内部に記録紙が残っている可能性があります。手順7へ進んでください。

7 スキャナーカバーを開く

両手でゆっくりつまった記録紙を取り出してください。

8 スキャナーカバーを閉じる

9 本製品から記録紙トレイを完全に引き出す

手順7で排紙トレイからつまった記録紙が取り出せないときは、本製品から記録紙トレイを引き出してください。

10 つまった記録紙を取り除く

11 記録紙トレイを本製品に戻す

12 フロントカバーを閉じる

補足

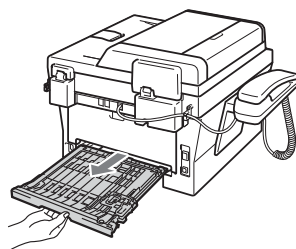
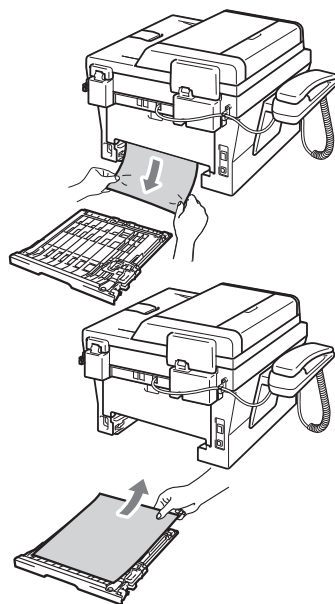
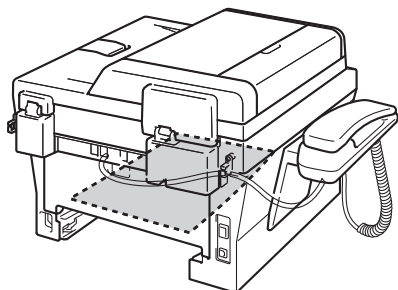
- 液晶ディスプレイに「紙詰まり 内部」と表示されたときは、本製品の内部につまった紙や破れた紙が残ってないかを手順3～6に従って確認してください。
- 本製品の内部からつまった紙や破れた紙を取り除いた後、本製品にコンピューターからのデータが残っている場合は、残りのデータが印刷されます。

両面印刷ユニットまたは定着ユニットに記録紙がつまったとき

紙詰まり 両面
トレイ1を完全に引き出して、内

1 本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

本製品の電源がOFFの場合は、電源スイッチをONにします。

2 本製品から両面トレイを完全に引き出す

3 つまった記録紙を取り除く

4 本製品底面につまった記録紙がないかを確認する

5 両面トレイを本製品に戻す

原因がよくわからない！

困ったときには（コピー／印刷）

コピー／印刷ができない

ここを確かめてください	対処方法
電源コードは差さっていますか	電源コード（壁側、本体側）を確実に差し込んでください。
本製品の電源スイッチは ON になっていますか	本製品の電源を ON にしてください。 ＜電源が入らない場合＞ • （落雷やパワーサージなどの）瞬間的に発生する大電流によって、本製品内部で安全装置が動作した可能性があります。 • 本製品の電源スイッチを OFF にして、電源プラグを抜いてください。10 分後に電源プラグを差し込み、本製品の電源を入れ直します。
トナーカートリッジが正しく取り付けられていますか	トナーカートリッジとドラムユニットを正しく取り付けてください。⇒ 71 ページ「トナーカートリッジの交換」、⇒ 74 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
給紙ローラーが汚れていませんか	⇒ 67 ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。
液晶ディスプレイが「記録紙を送れません」と表示していませんか	記録紙がまっすぐにセットされていることを確認してください。また、記録紙が丸まっていないか、記録紙が折れ曲がっていないか確認してください。
記録紙トレイに記録紙を多くセットしていませんか	記録紙を少し減らしてセットしてください。
原稿が正しく送り込まれていますか（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	• 原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入してください。 • ADF（自動原稿送り装置）カバーをもう一度閉じ直してください。 • 原稿が薄すぎたり、厚すぎたりしている場合や原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっている場合は、原稿台ガラスからファクスやコピーをしてください。 ⇒ 34 ページ「原稿台ガラスにセットする」を参照してください。 • 原稿のサイズを確認してください。 • 原稿挿入口に破れた原稿などがつまっている場合があります。カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。 ⇒ 87 ページ「原稿がつまったとき」を参照してください。
原稿が斜めになって送り込まれていませんか（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	原稿ガイドを原稿に合わせてください。

ここを確かめてください	対処方法
記録紙を正しくセットしていますか	⇒ 28 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。
記録紙がつまっていませんか	⇒ 89 ページ「記録紙がつまったとき」を参照してください。 フロントカバー、スキャナーカバーまたはバックカバーを確実に閉めてください。

両面印刷ができない

ここを確かめてください	対処方法
プリンタードライバーの設定は正しいですか	プリンタードライバーが「両面」に設定されているか確認してください。
用紙サイズを正しく設定していますか	用紙サイズが正しく設定されているか確認してください。

コピーできない

ここを確かめてください	対処方法
コピーモードになっていますか	＜コピー＞が点灯しているか確認してください。
セキュリティ機能ロックが設定されていませんか	本製品の管理者にセキュリティ機能ロックが設定されていないか確認してください。

コンピューターから印刷できない

以下の順番で確認してください。

ここを確かめてください	対処方法
①ケーブルが正しく接続されていますか	本製品側とコンピューター側の両方のケーブルを差し直してください。（USB ハブなどを経由しては接続できません。）
②「通常使うプリンタ」の設定になっていますか	［プリンター］アイコンにチェックマークが付いているか確認してください。付いていない場合は、次の手順に従って、チェックマークを付けます。 <Windows® 7> から［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンター］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［通常使うプリンターに設定］をクリックしてチェックを付けます。 <Windows Vista®> から［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定］をクリックしてチェックを付けます。 <Windows® XP> ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定］をクリックしてチェックを付けます。 <Windows® 2000> ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定］をクリックしてチェックを付けます。
③液晶ディスプレイがエラーメッセージを表示していませんか	⇒ 81 ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」を参照してください。

ここを確かめてください	対処方法
④オフラインの状態になっていませんか	プリンターがオフラインになっていないか確認します。 <Windows® 7> から［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンター］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［プリンターをオンラインにする］がメニューにある場合は、オフラインの状態です。［プリンターをオンラインにする］をクリックしてください。 <Windows Vista®> から［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［プリンタをオンラインにする］がメニューにある場合は、オフラインの状態です。［プリンタをオンラインにする］をクリックしてください。 <Windows® XP> ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［プリンタをオンラインにする］がメニューにある場合は、オフラインの状態です。［プリンタをオンラインにする］をクリックしてください。 <Windows® 2000> ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［プリンタをオンラインにする］がメニューにある場合は、オフラインの状態です。［プリンタをオンラインにする］をクリックしてください。

ここを確かめてください	対処方法
⑤「一時停止」の状態になっていませんか	プリンターが一時停止の状態になっていないか確認します。 <Windows® 7> から［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンター］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［印刷の再開］がメニューにある場合は、一時停止の状態です。［印刷の再開］をクリックしてください。 <Windows Vista®> から［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［印刷の再開］がメニューにある場合は、一時停止の状態です。［印刷の再開］をクリックしてください。 <Windows® XP> ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［印刷の再開］がメニューにある場合は、一時停止の状態です。［印刷の再開］をクリックしてください。 <Windows® 2000> ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［印刷の再開］がメニューにある場合は、一時停止の状態です。［印刷の再開］をクリックしてください。
⑥印刷待ちのデータがありませんか	印刷に失敗した古いデータが残っている場合があります。以下の方法でデータを削除してください。 <Windows® 7> から［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンター］の順にクリックします。［プリンター］アイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。［ドキュメント］メニューから［キャンセル］を選択します。 <Windows Vista®> から［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。［プリンター］アイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。［ドキュメント］メニューから［キャンセル］を選択します。 <Windows® XP> ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］の順にクリックします。［プリンター］アイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。［ドキュメント］メニューから［キャンセル］を選択します。 <Windows® 2000> ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。［プリンター］アイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。［ドキュメント］メニューから［キャンセル］を選択します。

ここを確かめてください	対処方法
⑦印刷先（ポート）の設定が間違っていませんか	<Windows® 7> から［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンター］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。 <Windows Vista®> から［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。 <Windows® XP> ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。 <Windows® 2000> ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。［プリンター］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。
⑧セキュリティ機能ロックが設定されていませんか	ネットワーク管理者に連絡して、セキュリティ機能ロックが設定されていないか確認してください。
⑨アドビ・イラストレーターを使用していますか	印刷解像度が高すぎる可能性があります。印刷解像度を低く設定してください。
⑩お使いのコンピューターを再起動して、本製品の電源を入れ直してください	本製品とコンピューターを確認しても印刷できない場合は、本製品の電源を入れ直してください。
⑪プリンタードライバーをアンインストールし、再インストールしてください	本製品の電源を入れ直しても印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールして、かんたん設置ガイドに従ってもう一度ドライバーをインストールしてください。
プリンタードライバーの給紙方法は正しいですか	プリンタードライバーの給紙方法を確認してください。 **（手差しスロット使用時）** プリンタードライバーの給紙方法が手差しを選択しているか確認してください。

コピー／印刷結果が悪い

印刷した内容に問題がある場合は、はじめに次の手順を確認してください。
それでも解決しない場合は、「こんなコピー/印刷結果のときは」の問題例やイラストを確認し、対処方法に従ってください。

1. 本製品の仕様を満たしている記録紙を使用しているか確認してください。⇒25 ページ「記録紙の基本」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

補足

最適な印刷品質で印刷するために、推奨紙の使用をおすすめします。⇒ユーザーズガイド 応用編「推奨紙」を参照してください。

2. ドラムユニットとトナーカートリッジが正しく取り付けられているか確認してください。

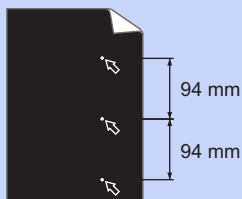
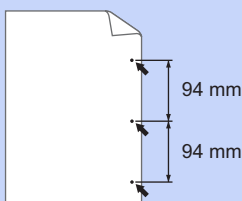
こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷結果が圧縮され、水平の縞が現れるまたは、上下左右の文章が切れる	原稿の上下左右に、印刷可能領域があるので、余白を調整して印刷し直してください。
色つきの文字・鉛筆などで書いた薄い文字の原稿をコピーしたときに、印刷結果が薄い	画質の設定を「テキスト」に設定し、コントラストのレベルを変更してください。 ⇒54 ページ「画質を設定する」、⇒55 ページ「コントラストを設定する」を参照してください。
印刷結果が薄すぎるか濃すぎる	• コントラストまたは明るさを印刷条件に合わせて調整してください。お買い上げ時は中央に設定されています。 ⇒55 ページ「コントラストを設定する」、⇒55 ページ「明るさを設定する」を参照してください。 原稿の先端に色が付いていると、濃い原稿と判断することがあります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。 • 複写式の原稿は文字が読み取りにくい場合があります。推奨している記録紙を使用してください。 • 薄い色や、青色や緑色の文字で書かれた原稿は、文字が読み取りにくい場合があります。文字の色を濃くしてください。 • 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 62 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • ドラムユニットとトナーカートリッジが正しく装着されていない可能性があります。ドラムユニットを取り外し、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外してください。トナーカートリッジを正しく入れ直し、ドラムユニットを本製品に正しく装着してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。 ⇒68 ページ「消耗品の交換」を参照してください。

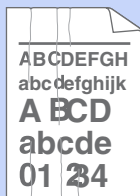
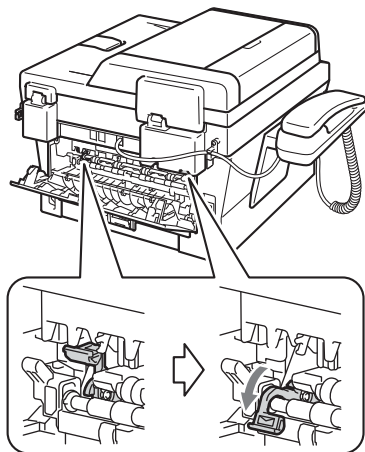
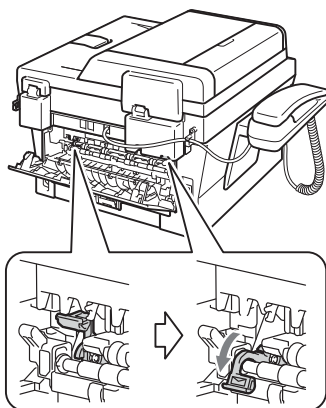
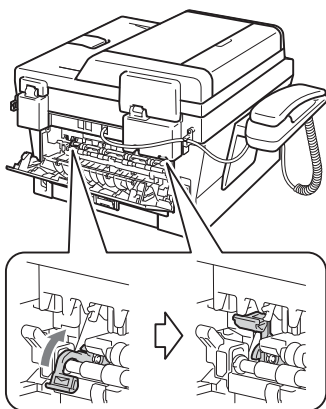
こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
何も印刷されない（真っ白）	• 原稿を表と裏を間違えてセットしている可能性があります。ADF（自動原稿送り装置）の場合は、コピーする面を上にして、原稿台ガラスの場合は、コピーする面を下にして原稿をセットしてください。 • 複写式の原稿は文字が読み取りにくい場合があります。推奨している記録紙を使用してください。 • 薄い色や、青色や緑色の文字で書かれた原稿は、文字が読み取りにくい場合があります。文字の色を濃くしてください。 • ドラムユニットとトナーカートリッジが正しく装着されていない可能性があります。ドラムユニットを取り外し、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外してください。トナーカートリッジを正しく入れなおし、ドラムユニットを本製品に正しく装着してください。
印刷結果がかすれる	• ドラムユニットとトナーカートリッジを取り出してください。トナーが均等になるように、左右に５～６回ゆっくりと振ってください。 • <メニュー>→<1>→<8>を押して、「トナー継続使用」が「オン」になっていると現象が発生する可能性があります。 詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「トナー設定」を参照してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • 原稿台ガラスを清掃してください。 • すべてのページが薄い場合には、トナー節約モードになっていることがあります。プリンタードライバーの［拡張機能］タブで「トナー節約モード」のチェックが外れているか確認してください。 詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • ドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。⇒63ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • 新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 71 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • 新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 74 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

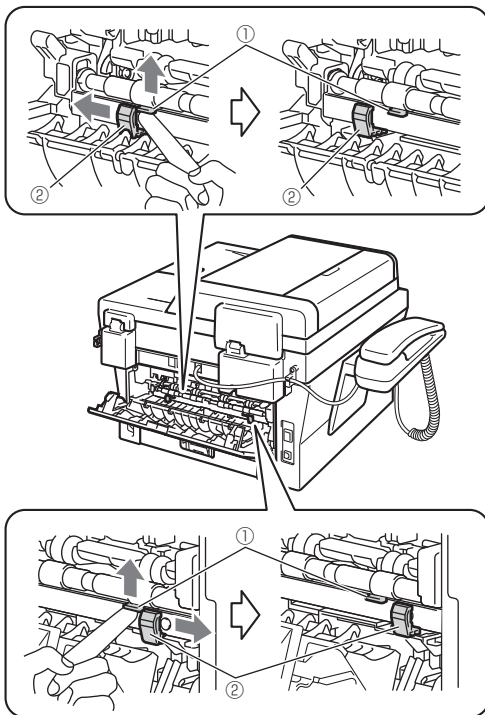
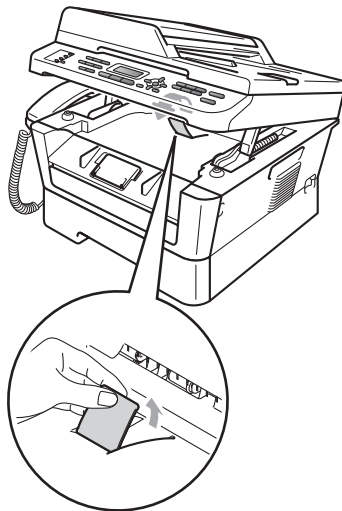
こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
背景が灰色になる	• 推奨している記録紙を使用してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、グレーの背景が入ることが多くなる場合があります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • 新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 71 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • 新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 74 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
同じイメージが等間隔で繰り返し印刷される 	• 推奨している記録紙を使用してください。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか、確認してください。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • プリンタードライバーで、［印刷結果の改善］を選択して、設定を確認してください。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • 新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 74 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • 新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 71 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題の原因になる場合があります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へお問い合わせください。
トナー汚れが生じる 	• 推奨している記録紙を使用してください。 • ドラムユニットとドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。⇒ 64 ページ「ドラムユニットの清掃」、⇒ 63 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所で使用すると、こうした問題が起きることがあります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • 新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 71 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。⇒ 74 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へお問い合わせください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印字部がところどころ白く欠ける 	• 推奨している記録紙を使用してください。 • プリンタードライバーの「用紙種類」で「超厚紙」を選択するか、現在ご使用のものより薄い記録紙をご使用ください。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所で使用すると、こうした問題が起きることがあります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。⇒ 74 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
黒い点々が不規則に現れる 	• トナーカートリッジから本製品内部にトナーが漏れていないか確認してください。漏れている場合は、新しいトナーカートリッジと交換してください。 • コピーを数枚してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。 ⇒68 ページ「消耗品の交換」を参照してください。
真っ黒なページが印刷される 	• 原稿台カバーが完全に閉じているか確認してください。 • ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2、3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。⇒ 63 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 74 ページ「ドラムユニットの交換」」を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へお問い合わせください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷されたページに、 白い線が横方向に現れる 	• ご使用の記録紙が本製品に適しているか確認してください。表面が粗い紙や厚紙を使うとこの問題が起きることがあります。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか、確認してください。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • 本製品の中につまった紙や破れた紙が残っていないことを確認してください。 • この問題は本製品が自動的に解決することがあります。特に長期間ご使用にならなかった後は、複数ページを印刷してこの問題が解消されるか試してみてください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 74 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • ドラムユニットを本製品から取り外し、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外してドラムユニット内部に紙片など異物がないか確認してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。 ⇒68 ページ「消耗品の交換」を参照してください。
印刷されたページに、平行な線が現れる 	• ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2、3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。⇒ 63 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。⇒ 74 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
印刷されたページに、 帯状の白い線が横方向に現れる 	• 推奨している記録紙を使用してください。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。 • 数ページ印刷してみてもこの問題が解決されない場合は、新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 74 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
黒い文章や画像が印刷されたページに周期な点が現れる 白い文章や画像が印刷されたページに周期な点が現れる 	• 数ページ印刷してみてもこの問題が解決されない場合は、感光ドラム表面にのりが付着していることがあります。 ⇒ 64 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。⇒ 74 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
黒い汚れが平行に繰り返し入る 	• 推奨している記録紙を使用してください。 • ラベル紙をご使用の場合には、ラベルののりが感光ドラムに付着することがあります。ドラムユニットを清掃してください。⇒ 64 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • ドラム表面を傷つける恐れがありますので、クリップやホチキスが付いた記録紙はご使用にならないでください。 • 開封されたドラムユニットは過度の直射日光や照明で品質が損なわれることがあります。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 71 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 74 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷されたページに、 線が縦方向に現れる	• 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒ 62 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • ドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。⇒ 63 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 ドラムユニットの緑色のつまみが元の位置（▲）にあるか確認してください。 • 感光ドラムの表面にトナーや粘着性の汚れが付いている場合は、乾いた布で拭きとってください。⇒ 64 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 清掃後も線が現れる場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。⇒ 74 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 74 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 71 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。⇒68 ページ「消耗品の交換」を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へお問い合わせください。
印刷されたページに、 白い線が縦方向に現れる 	• 本製品の中につまった紙や破れた紙が残っていないことを確認してください。 • 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒ 62 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • <メニュー> → <1> → <8> を押して、「トナー継続使用」が「オン」になっていると現象が発生する可能性があります。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「トナー設定」を参照してください。 • トナー残量が少なくなっている、またはトナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 71 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。⇒ 74 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • 本製品内部で結露している可能性があります。複数ページを印刷してください。改善されない場合は、2 時間程度放置してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。⇒68 ページ「消耗品の交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
斜めに印刷される	• 推奨している記録紙を使用してください。 • 記録紙やその他のメディアが記録紙トレイに正しく挿入されているか確認してください。また、記録紙ガイドが記録紙の大きさに合っているか確認してください。 • 記録紙ガイドを正確にセットしてください。記録紙ガイドのツメが溝にしっかりはまっているか確認してください。⇒ 28 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。 • 手差しスロットをご使用の場合は⇒ 30 ページ「手差しスロットに記録紙をセットする」を参照してください。 • 本製品の中につまった紙や破れた紙が残っていないことを確認してください。 • バックカバー（背面排紙トレイ）を開け、左右の緑色のレバー、および灰色のスライドレバーが同じ位置になっているか確認してください。 • この問題が両面印刷時に起こるときは、両面トレイの中につまった紙や破れた紙が残っていないことを確認してください。また、両面トレイが完全に本製品に戻してあること、バックカバー（背面排紙トレイ）が完全に閉じられていることを確認してください。 • 記録紙トレイ内の紙の枚数が多すぎる場合があります。⇒ 28 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。 • 原稿ガイドが原稿の幅に正しく合わせられているか確認してください。⇒ 34 ページ「ADF（自動原稿送り装置）にセットする」を参照してください。
カールしたり波打って印刷される 	• 推奨している記録紙を使用してください。 • 本製品を長時間使用していないと、記録紙が記録紙トレイの中で過度に吸湿していることがあります。トレイの中の記録紙を裏返すか、記録紙をさばいてから向きを 180 度回転させてみてください。 • バックカバー（背面排紙トレイ）を開いて、印刷してみてください。詳細は、⇒ 31 ページ「封筒などの記録紙を曲げずに印刷する」を参照してください。 • プリンタードライバーで、［印刷結果の改善］を選択して、設定を確認してください。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
しわが寄ったり折れ曲がって印刷される	• 推奨している記録紙を使用してください。 • 記録紙が正しく給紙されているか確認してください。⇒ 28 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。 • トレイの中の記録紙を裏返すか、向きを 180 度回転させてみてください。
封筒にしわが寄ったり折れ曲がって印刷される	• 封筒のフラッパーの向きを180度回転させてみてください。しわが改善されることがあります。 • バックカバー（背面排紙トレイ）を開け、左右の緑色レバーが完全に下がっているか確認してください。緑色レバーが上がっている場合は、レバーを下げてください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
はがきがカール、またははがきの印刷結果が悪い	• バックカバー（背面排紙トレイ）を開け、左右の緑色レバーが完全に下がっているか確認してください。緑色レバーが上がっている場合は、レバーを下げてください。
印刷された箇所を指でこすると汚れる	• バックカバー（背面排紙トレイ）を開け、左右の緑色レバーが完全に上がっているか確認してください。緑色レバーが下がっている場合は、レバーを上げてください。 • プリンタードライバーの設定で「トナーの定着を改善する」チェックボックスをチェックしてください。 ［印刷結果の改善］を選択して、設定を確認してください。数ページしか印刷しない場合は、［用紙種類］で、より厚い用紙に変更してください。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
丸まって印刷される	• プリンタードライバーの設定で「用紙のカールを軽減する」チェックボックスをチェックしてください。 ［印刷結果の改善］を選択して、設定を確認してください。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • トレイの中の記録紙を裏返して、再度印刷してください。（レターヘッドのある記録紙は除く） それでも、問題が解決しない場合は、以下の手順でカール改善レバーをスライドさせてください。 1 バックカバー（背面排紙トレイ）を開く 2 レバー（①）を持ち上げて、そのまま灰色のレバー（②）をイラストの矢印の向きにスライドさせる 3 バックカバー（背面排紙トレイ）を閉じる

ABCDEFGH
abcdefghijk
ABCD
abcde
01234

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
丸まって印刷される 	• 排紙ストッパーを開いてください。

困ったときには（スキャン）

スキャンできない

このような場合は	対処方法
スキャン中にエラーが表示される	Windows®の場合、Presto! PageManagerで［ファイル］－［TWAIN 対応機器の選択］の選択をして、Brother TWAIN ドライバーを選択し、「選択」をクリックしてください。 Macintosh の場合、［ファイル］-［取り込みデバイスを選択］の選択をして、Brother TWAIN ドライバーを選択し、「選択」をクリックしてください。
OCR が使用できない	解像度を上げてもう一度スキャンしてください。
ネットワークスキャンが使用できない	⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「印刷／スキャンできない」を参照してください。

困ったときには（電話／ファクス）

ファクスできない

ここを確かめてください	対処方法
本製品が正しく設定されていますか	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 20 ページ「電話回線のこと」、⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
ファクスを送信／受信できる相手とできない相手がいますか	「安心通信モード」を設定してください。このとき、「標準」→「安心（VoIP）」の順にお試しください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
ダイヤルできますか	電話線を正しく接続してください。 ⇒かんたん設置ガイド「電話機コードを接続する」を参照してください。
送信結果レポートで、「エラー」と印刷される	もう一度ファクスを送信してください。問題が続いている場合、電話会社に問い合わせ、回線を確認してください。
原稿を正しくセットしていますか	原稿を正しくセットしているか確認してください。
登録している電話番号に、ポーズ「p」が入っていませんか	登録している電話番号に、ポーズ「p」が入っている場合は、削除してください。

ここを確かめてください	対処方法
IP フォンを使用していますか	ご利用しているプロバイダーへファクス通信が保障されていることを確認してください。
IP 網を使用した専用線を使用していますか	「安心通信モード」を「標準」に変更してください。または、一般電話回線を選択して送信してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
ADSL 環境ですか	• ブランチ接続（並列）接続をしないでください。 • ラインセパレータ（分岐器）を使用すると改善する場合があります。

ファクスできない（応用編）

こんなときは	対処方法
自動受信できない	• 呼出回数が多すぎないか確認してください。在宅モードのときは呼出回数を 6 回以下に、留守モードのときは呼出回数を 2 回以下に設定してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。 または、手動で受信してください。 • 自動で記録紙に印刷したいときは、「転送/メモリ受信」の設定を「オフ」にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。
リモート受信できない	• 「リモート受信」の設定を「オン」にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。 • リモート起動番号を正しくダイヤルしてください。 お買い上げ時は「#51」に設定されています。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。 • メモリがいっぱいになっている場合があります。メモリ内部のデータを印刷するか、メモリの内容を消去してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない	「特別回線対応」の設定を「PBX」にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。 それでも受信できないときは、「お客様相談窓口」にご連絡ください。
IP 網を使用している	「0000」や選択番号をダイヤルした後、約 3 秒間待ってから相手の番号や電話帳をダイヤルしてください。

こんなときは	対処方法
ファクスを複数枚送信できない	• ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合 リアルタイム送信が「オン」になっていることを確認して送信してください。 • 原稿台ガラスを使用する場合 リアルタイム送信が「オフ」になっていることを確認して送信してください。 それでも送信に失敗する場合は、メモリーの容量が不足している可能性があります。 その場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使用して送信してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

リモコン機能が使えない

ここを確かめてください	対処方法
トーン信号（ピッポッパッ）が出せない電話機からかけていませんか	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。

ファクスの画質が悪い

こんなときは	対処方法
受信したファクスが分割されて 2 ページに印刷される	「自動縮小」を「オン」にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
受信したファクスの画像が乱れる	• 相手に画質を変更して送信してもらってください。 • キャッチホンが途中で入っていませんか。「キャッチホンⅡ」のサービスに変更し、「キャッチホンⅡ」の呼び出しベル回数を 0 回に設定してください。「キャッチホンⅡ」の詳しい内容は NTT の 166 番にお問い合わせください。 • ブランチ接続（並列接続）はしないでください。 ⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。

こんなときは	対処方法
受信したファクスに縦の線が現れる	• ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃してください。⇒ 63 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 コロナワイヤー清掃後、緑色のつまみが元の位置（▲）にあることを確認します。 清掃後も線が現れる場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。⇒ 74 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 それでも改善されない場合は、定着ユニットに汚れがある可能性があります。お客様相談窓口へご連絡ください。 • 相手側のファクス読み取り部が汚れている可能性があります。相手にファクス読み取り部の汚れを確認してもらってください。
受信したファクスに、水平の線が現れるまたは、行が抜ける	• 回線状況が悪い可能性があります。相手にファクスを再送するように依頼してください。 •「安心通信モード」の設定を「標準」または「安心(VoIP)」にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。 • 相手側のファクス読み取り部が汚れている可能性があります。相手にファクス読み取り部の汚れを確認してもらってください。
相手側で受信したファクスが鮮明でない	• 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 62 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • ファクスの送信時に選択した解像度が適切でないことがあります。「ファイン」または「スーパーファイン」モードを使用してファクスを再送信してください。原稿が写真の場合は、「写真」モードを選択して送信してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
送信したファクスに縦の線が現れる	原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 62 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。
送信したファクスに横の線が現れる	• キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。⇒ 43 ページ「電話モード」を参照してください。 •「安心通信モード」の設定を「標準」または「安心(VoIP)」にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

電話がかけられない

ここを確かめてください	対処方法
受話器から「ツー」という音が聞こえますか	本製品に接続している電話機が本製品の外付け電話(EXT.)端子に接続していることを確認してください。
ひかり電話を使用していますか	• 手動で回線種別を「ﾌﾟｯｼｭ回線」に設定してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。 • 一部つながらない番号があります。ご利用の電話会社へお問い合わせください。

着信音が鳴らない

ここを確かめてください	対処方法
電源は入っていますか	本製品の電源スイッチが ON になっているか確認してください。また電源コードも確認してください。
ひかり電話を使用していますか	VoIP アダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になってるか確認してください。 場合によっては、VoIP アダプタの設定が必要です。 契約内容の確認や、VoIP アダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
ISDN を使用していますか	• ターミナルアダプタの電源が入っているか確認してください。また、設定を何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。 それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。 • ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認してください。 異常があった場合は NTT 故障係(113)へご連絡ください。 • 本製品を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。 • 「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。 ターミナルアダプタの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
ISDN 回線で、複数の回線を契約していますか	• ダイヤルイン番号またはiナンバーを着信させるアナログポートはグローバル着信「しない」に設定してください。 • まだ問題がある場合は、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたは最寄りのNTTにお問い合わせください。

「声」をファクス信号音として誤って検出する

ここを確かめてください	対処方法
「親切受信」が「オン」に設定されていませんか	本製品の「親切受信」が「オン」に設定されていると、音に対して敏感になります。本製品は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違って、ファクスの受信トーンで応答することがあります。 本製品に接続している電話機をお使いの場合は、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

キャッチホン、ナンバー・ディスプレイが使用できない

ここを確かめてください	対処方法
雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない	ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、正しく接続し直してください。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。
電話番号が表示されない	• ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、ブランチ接続（並列接続）をしないでください。 • NTT のナンバー・ディスプレイサービスの契約をしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
ISDN を使用していますか	本製品を接続しているターミナルアダプタのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているか確認してください。
ひかり電話を使用していますか	VoIP アダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になってるか確認してください。 場合によっては、VoIP アダプタの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。

困ったときには（その他）

突然印刷が中断したり、無意味なデータが印刷される

ここを確かめてください	対処方法
USB ケーブル、LAN ケーブルが長すぎたり、破損または故障していたりしませんか	• USBケーブルは長さが2.0m以下のものをおすすめします。 • ケーブルが破損、故障している場合は交換してください。
インターフェイス切替器を使用していますか	インターフェイス切替器を取り外して、直接本製品と接続してください。

マイクロソフト「エクセル」または「パワーポイント」をご使用中にオブジェクトに設定したハッチパターンがうまくプリントできない

ここを確かめてください	対処方法
プリンタードライバーの［基本設定］タブで［印刷設定］の［パターン印刷を改善する］がオンになっていますか	以下の手順で設定を確認してください。 1.［基本設定］タブで「印刷設定」のプルダウンメニューから［手動設定］を選択する。 2.［手動設定］をクリックし、［パターン印刷を改善する］のチェックボックスにチェックが入っていることを確認する。

ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した（Windows®のみ）

ここを確かめてください	対処方法
ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか	接続失敗のエラーメッセージ画面から［検索］をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「リモートセットアップ」を参照してください。

液晶ディスプレイの文字が読みにくい

ここを確かめてください	対処方法
液晶ディスプレイのコントラストの設定が適切ですか	液晶ディスプレイのコントラストの設定を変更してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。

スピーカーからの音（キータッチ音など）が割れる

ここを確かめてください	対処方法
スピーカーの近くにアンテナがありませんか	アンテナを回転してスピーカーから遠ざけてください。

本製品の動作中にUPSから警告音が鳴る

ここを確かめてください	対処方法
UPS（無停電電源装置）を使用していませんか	本製品の電源プラグを直接コンセントに差し込んでください。

5 付録

機能一覧

初期設定機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
0.初期設定	1.受信モード	―	FAX=ファクス専用 F/T=自動切換え 留守=外付け留守電 TEL=電話	受信モードを設定します。	⇒44 ページ
	2.時計セット	―	―	現在の日付・時刻を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	3.発信元登録	―	ファクス 電話 名前	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	4.回線種別設定	―	プッシュ回線 ダイヤル　10PPS ダイヤル　20PPS 自動設定	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	5.ダイヤルトーン設定	―	検知する 検知しない	ダイヤルトーン検知を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	6.特別回線対応	―	一般 ISDN PBX	回線種別を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	7.ナンバー　プレフィックス	―	―	外線にダイヤルするときに必要な番号を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	8.リセット	1.機能設定	1.決定 2.キャンセル	コピー、ファクスなど各種機能でご使用にあわせて設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2.ネットワーク	1.決定 2.キャンセル	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		3.電話帳＆ファクス	1.決定 2.キャンセル	電話帳や着信履歴、メモリなどをすべて消去します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		4.全設定	1.決定 2.キャンセル	各種機能でご使用にあわせて設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
0.初期設定	0.表示言語	―	日本語 English	液晶ディスプレイに表示される言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.	⇒ユーザーズガイド 応用編

※ 下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

基本設定機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
1.基本設定	1.モード　タイマー	―	0 秒 30 秒 1 分 2 分 5 分 切	ファクスモードに戻る時間を設定します。 「切」を選択すると、最後に使ったモードを保持します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	2.記録紙設定	1.記録紙タイプ	普通紙 普通紙（厚め） 厚紙 ハガキ 超厚紙 再生紙 ラベル紙	記録紙トレイにセットする記録紙のタイプを設定します。	⇒32 ページ
		2.記録紙サイズ	A4 USレター A5 A5 L（A5（横置き）） A6 B5 B6 ハガキ	記録紙トレイにセットする記録紙のサイズを設定します。	
	3.音量	1.着信音量	切 小 中 大	着信音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2.ボタン確認音量	切 小 中 大	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内　容	参照ページ
1.基本設定	3.音量	3.スピーカー音量	切 小 中 大	スピーカーの音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		4.受話音量	小 大	受話音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	4.省エネモード	1.トナー節約モード	オン オフ	トナーの使用量をセーブします。「オン」に設定すると、印字結果が薄くなります。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2.スリープ　モード	003分	スリープ状態になるまでの時間を0～210分の間で設定します。消費電力を節約することができます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	5.画面のコントラスト		−□□■□□+	液晶ディスプレイのコントラストを調整します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	6.セキュリティ	1.セキュリティ 機能ロック	−	パスワードを設定しファクス送信などの機能をユーザーごとにロックします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2.セキュリティ 設定ロック	−	パスワードを設定し機能設定をロックします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	7.原稿読み取り設定	1.原稿台スキャンサイズ	A4 USレター	原稿台ガラスからファクスやコピーをするときに読み取りサイズを設定します。	⇒35 ページ
		2.ファイルサイズ 1.カラー	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		2.ファイルサイズ 2.グレー	小 中 大		⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
1.基本設定	8.トナー継続使用	—	オン オフ	「トナー停止」の表示がされるまで印刷を行うことができます。	⇒ユーザーズガイド 応用編

ファクス機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
2.ファクス	1.受信設定	1.ファクス無鳴動受信	オン オフ	ファクスを受信したときに着信音を鳴らさないようにします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2.呼出回数	00 : 04 : 10	「ファクス専用」モードと「自動切換え」モードのとき、着信してから自動受信するまでの呼出回数を0～10回の間で設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		3.再呼出回数	08 15 20	「自動切換え」モードのとき、本製品が自動受信後に鳴る呼出音の回数を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		4.親切受信	オン 本体 オフ	ファクスを自動受信する前に本製品と接続されている電話をとってしまった場合でも、本製品の<スタート>を押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		5.リモート受信	オン（#51） オフ	本製品と接続されている電話機からファクスを受信させるときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		6.自動縮小	オン オフ	A4サイズより長い原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		7.印刷濃度	−□□■□□+	受信したファクスを印刷する濃度を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		8.ポーリング受信	標準 機密 タイマー	ポーリング受信を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		9.受信スタンプ	オン オフ	ファクス印刷するときに受信した日時を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		0.両面印刷	オン オフ	両面印刷を設定します。	⇒44 ページ

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
2.ファクス	2.送信設定	1.原稿濃度	自動 濃く 薄く	原稿に合わせて濃度を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2.ファクス画質	標準 ファイン スーパーファイン 写真	送信時の画質の設定をします。ここで設定した内容は次に変更するまで有効です。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		3.タイマー送信	指定時刻=００：００	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		4.とりまとめ送信	オン オフ	同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		5.リアルタイム送信	今回のみ：オン 今回のみ：オフ オン オフ	メモリを使わずに原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		6.ポーリング送信	標準 機密	ポーリング送信を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		7.送付書	今回のみ：オン 今回のみ：オフ オン オフ 印刷サンプル	送付書を付加する／しないを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		8.送付書コメント	－	送付書のコメントを作成します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		9.海外送信モード	オン オフ	海外にファクスを送るときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	3.電話帳登録	1.電話帳／ワンタッチ	－	ワンタッチボタン1～8にファクス番号や相手の名前を登録します。	⇒46 ページ
		2.電話帳／短縮	－	3桁の短縮番号（001～200）にファクス番号や相手の名前を登録します。	⇒46 ページ
		3.電話帳／グループ	－	複数の相手をグループ（1～8）として登録します。	⇒46 ページ

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
2.ファクス	4.レポート設定	1.送信結果レポート	オン オン+イメージ オフ オフ+イメージ	ファクス送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2.通信管理間隔	レポート出力しない 50件ごと 6時間ごと 12時間ごと 24時間ごと 2日ごと 7日ごと	通信管理レポートを印刷する間隔を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	5.応用機能	1.転送/メモリ受信	オフ ファクス転送 電話呼び出し メモリ受信 PCファクス受信	ファクスを転送したり、メモリ受信を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2.暗証番号	暗証番号:---*	外出先から本製品を操作するときの暗証番号を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		3.ファクス出力	-	メモリ受信でメモリに蓄積されたファクスを印刷するときに使用します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	6.ダイヤル制限機能	1.直接入力	オフ 2度入力 オン	ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限することができます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2.ワンタッチダイヤル	オフ 2度入力 オン		⇒ユーザーズガイド 応用編
		3.短縮ダイヤル	オフ 2度入力 オン		⇒ユーザーズガイド 応用編
	7.通信待ち一覧	―	-	メモリ送信の設定を確認したり、解除できます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	0.その他	1.安心通信モード	高速 標準 安心(VoIP)	ファクスをより確実に送信したいときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2.ナンバーディスプレイ	オン オフ 外付け電話優先	NTTのナンバー・ディスプレイサービスを利用するときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

コピー機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
3.コピー	1.コピー画質	—	自動 テキスト 写真 カーボン	画質を調整します。	⇒54 ページ
	2.明るさ	—	−□□■□□+	明るさを調整します。	⇒55 ページ
	3.コントラスト	—	−□□■□□+	コントラストを調整します。	⇒55 ページ

プリンター機能

本製品のプリンター機能については、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編を参照してください。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容
4.プリンター	1.プリンター　オプション	1.フォント　リスト	—	内蔵フォントの種類を印刷します。
		2.プリンター設定	—	プリンターの設定を印刷します。
		3.テスト プリント	—	テストチャートを印刷します。
	2.両面印刷	—	オフ オン（長辺とじ） オン（短辺とじ）	両面印刷時の内容を設定します。
	3.プリンターリセット	—	1.決定 2.キャンセル	プリンターの設定を初期状態に戻します。

レポート印刷機能

本製品のレポート印刷機能については、⇒ユーザーズガイド 応用編を参照してください。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容
5.レポート印刷	1.送信結果レポート	1.表示	ー	送信した最新の最大200件分の結果を表示します。
		2.印刷	ー	最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。
	2.機能案内	ー	ー	機能の解説を印刷します。
	3.電話帳リスト	1.メモリ番号順	ー	電話帳に登録されている内容をメモリ番号順に印刷します。
		2.名前順	ー	電話帳に登録されている内容を名前順に印刷します。
	4.通信管理レポート	ー	ー	送信・受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。
	5.設定内容リスト	ー	ー	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。
	6.着信履歴リスト	ー	ー	着信した履歴の最大30件分の結果を印刷します。
	7.ネットワーク設定リスト	ー	ー	ネットワークの設定内容を印刷します。
	8.無線LANレポート	ー	ー	無線LANの現在の接続状況を印刷します。

LAN（ネットワーク）設定機能

本製品をネットワークで使用する際の詳細については、⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編を参照してください。

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	メニュー 選択	選択項目	内　容
6.ネットワーク	1.有線LAN	1.TCP/IP設定	1.ＩＰ取得方法	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPの取得方法を指定します。
			2.ＩＰアドレス	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	IPアドレスを設定します。
			3.サブネットマスク	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	サブネットマスクを設定します。
			4.ゲートウェイ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	ゲートウェイのアドレスを設定します。
			5.ノード名	BRNxxxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。
			6.WINS設定	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
			7.WINSサーバー	プライマリ 000. 000. 000. 000 セカンダリ 000. 000. 000. 000	WINSサーバーを設定します。
			8.DNSサーバー	プライマリ 000. 000. 000. 000 セカンダリ 000. 000. 000. 000	DNSサーバーを設定します。
			9.APIPA	オン オフ	APIPAを設定します。
			0.IPv6	オン オフ	IPｖ6を設定します。

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	メニュー 選択	選択項目	内　容
6.ネットワーク	1.有線LAN	2.イーサネット	―	Auto 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD	Auto：自動接続により選択します。 100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：それぞれのリンクモードに固定されます。
		3.有線LAN状態	―	アクティブ　100B-FD アクティブ　100B-HD アクティブ　10B-FD アクティブ　10B-HD 未接続 有線LAN オフ	接続状態を表示します。
		4.MACアドレス	―	―	MACアドレスを表示します。
		5.初期設定に戻す	―	1.決定 2.キャンセル	有線LANのネットワーク設定を工場出荷時の設定に戻します。
		6.有線LAN有効	―	オン オフ	有線LAN設定のオン/オフを切り替えます。
	2.無線LAN	1.TCP/IP設定	1.IP 取得方法	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPの取得方法を指定します。
			2.IP アドレス	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	IPアドレスを設定します。
			3.サブ ネット マスク	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	サブネットマスクを設定します。
			4.ゲートウェイ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	ゲートウェイのアドレスを設定します。

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	メニュー 選択	選択項目	内　容
6.ネットワーク	2.無線LAN	1.TCP/IP設定	5.ノード名	BRWxxxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。
			6.WINS設定	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
			7.WINS サーバー	プライマリ 000. 000. 000. 000 セカンダリ 000. 000. 000. 000	WINSサーバーを設定します。
			8.DNS サーバー	プライマリ 000. 000. 000. 000 セカンダリ 000. 000. 000. 000	DNSサーバーを設定します。
			9.APIPA	オン オフ	APIPAを設定します。
			0.IPv6	オン オフ	IPｖ6を設定します。
		2.無線接続ウィザード	—	—	ウィザード形式で無線LANの設定をします。
		3.WPS/AOSS	—	—	ボタンを押すだけで簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。
		4.WPS（PIN方式）	—	—	WPS（PIN方式）で簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。
		5.無線状態	1.接続状態	アクティブ（11b） アクティブ（11g） 有線LAN　アクティブ 無線LAN　オフ AOSS　アクティブ 接続失敗	接続状態を表示します。
			2.電波状態	電波:強い 電波:普通 電波:弱い 電波:なし	電波状態を表示します。

メイン メニュー	サブ メニュー 1	サブ メニュー 2	メニュー 選択	選択項目	内　容
6.ネットワーク	2.無線LAN	5.無線状態	3.SSID	—	SSID（ネットワーク名）を表示します。
			4.通信モード	アドホック インフラストラクチャ	通信モードを表示します。
		6.MACアドレス	—	—	MACアドレスを表示します。
		7.初期設定に戻す	—	1.決定 2.キャンセル	無線LANのネットワーク設定を工場出荷時の設定に戻します。
		8.無線LAN有効	—	オン <u>オフ</u>	無線LAN設定のオン/オフを切り替えます。
	3.スキャン to FTP	—	—	<u>カラー　100　dpi</u> カラー　200　dpi カラー　300　dpi カラー　600　dpi グレー　100　dpi グレー　200　dpi グレー　300　dpi モノクロ　200　dpi モノクロ　200x100dpi	ファイルの種類を設定します。
	0.ネットワーク設定リセット	1.決定	—	1.はい 2.いいえ	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。
		2. キャンセル	—	—	設定メニューに戻ります。

製品情報

本製品の製品情報については、⇒ユーザーズガイド 応用編を参照してください。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容
7.製品情報	1.シリアル　No.	―	―	シリアルNo.を表示します。
	2.印刷枚数表示	―	合計 ファクス/リスト コピー プリンター	お買い上げ時から今までに印刷したそれぞれの枚数を表示します。
	3.ドラム　寿命	―	―	ドラムユニット寿命までの残り%を表示します。

本製品の仕様

ファクシミリ

項目	仕様
互換性	Super G3
圧縮方式	MH/MR/MMR/JBIG
通信速度	33600bps
原稿サイズ幅	ADF（自動原稿送り装置）使用時： 最大：215.9mm 最小：147.3mm
	原稿台ガラス使用時： 最大：215.9mm
原稿サイズ長さ	ADF（自動原稿送り装置）使用時： 最大：355.6mm 最小：147.3mm
	原稿台ガラス使用時： 最大：297mm
有効読み取り幅	208mm
記録紙トレイ枚数	標準記録紙トレイ（トレイ1）：約250枚（80g/m^2）
記録紙サイズ	幅215.9mm×長さ297mm
電送時間	2秒台※1
グレースケール	256階調
液晶ディスプレイ表示	10文字（漢字）×2行
読み取り方式	CIS
代行受信枚数	500枚※2
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査：3.85本/mm（標準） 7.7本/mm（ファイン/写真） 15.4本/mm（スーパーファイン）
ポーリングタイプ	標準/機密/タイマー（タイマー：受信のみ）
適用回線	一般電話回線

※1：A4判700字程度の原稿を標準的画質（8ドット×3.85本/mm）、高速モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間です。通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の電送時間は原稿の内容および回線状況によって異なります。

※2：A4判700字程度の原稿を標準的画質（8ドット×3.38本/mm）で蓄積した場合（JBIG圧縮時）

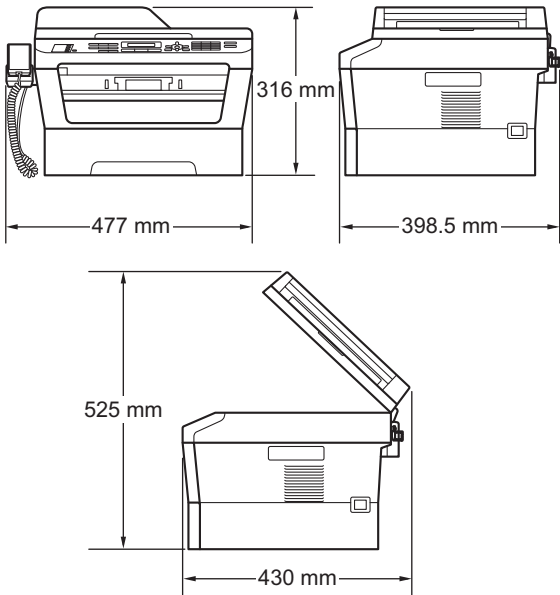
プリンター

プリント速度（A4）	最高26枚/分 両面：最高10枚/分※
ファーストプリントアウトタイム（レディ時）	10秒以下
印刷方式	半導体レーザー＋乾式電子写真方式
プリント解像度	HQ1200（2400×600dpi）、600×600dpi
記録紙種類	普通紙、普通紙（厚め）、超厚紙、再生紙、ラベル紙、封筒、はがき

※ 両面印刷時の片面分の速度です。両面分の印刷速度は、最高で 5 枚 / 分となります。

コピー

複写速度（A4）	最高26枚/分
ファーストコピーアウトタイム	12.5秒以下
コピー解像度	最高600×600dpi
連続複写枚数	最大99枚
拡大・縮小	あり（50・70・83・87・91・94・97・100・115・141・200%・自動、25～400%の1%刻み）

スキャナー

スキャナー解像度（光学解像度）	ADF使用時：600×600dpi 原稿ガラス使用時：600×2400dpi
階調	フルカラー　入力：48ビット、出力：24ビット グレースケール　256階調
読み取り速度（A4）	カラー：7.89秒/枚 モノクロ：2.63秒/枚

その他

対応コンピューター	IBM PC/AT互換機 Apple社製MacintoshのUSBポート搭載機
対応 OS	Windows® 2000 Professional/XP Home Edition/ XP Professional Edition/XP Professional x64 Edition/ Windows Vista®/Windows® 7/Windows Server® 2003※/ 2003 x64 Edition※/2008※/2008 R2※ Mac OS X 10.4.11/10.5.x/10.6.x
インターフェイス	Hi-Speed USB2.0 有線LAN：10/100BASE-TX 無線LAN：IEEE802.11b/g（インフラストラクチャモード/アドホックモード）

※ ネットワーク接続によるプリント機能のみ

電源と使用環境

使用環境	温度：10～32.5℃ 湿度：20～80%（結露なきこと）
電源	AC100V（50/60Hz）
消費電力	待機時：平均55W ピーク時：830W コピー時：平均445W※ スリープ時（無線LAN：オン）：平均3.9W ディープスリープ時：平均1.7W
稼働音（音圧レベル）	待機時：30dB（A）以下 動作時：53dB（A）以下
稼働音（音響レベル）	待機時：LWAd=4.3B（A） 動作時：LWAd=6.81B（A）
メモリ容量	32MB
外形寸法	316 mm 477 mm 398.5 mm 525 mm 430 mm
質量（消耗品を含む）	11.9kg

※ 原稿 1 枚に対してコピーを 1 枚したときの消費電力です。コピーの状況によって異なります。

Wi-Fi認証について

この製品は、Wi-Fi AllianceのWi-Fi製品IEEE802.11b/802.11g認証を受けています。Wi-Fi Alliance認証プログラムは、IEEE無線標準規格802.11を基準とした他メーカーの無線LAN製品と互換して機能することを保証します。Wi-Fi Allianceと認証製品については、http://www.wi-fi.org/を参照してください。

簡単無線LAN設定

ご使用の無線LANアクセスポイントがAOSS™、WPS※1 (PBC※2)のいずれかに対応している場合、1つのボタンを押すだけで無線LAN設定ができます。詳しくは、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

※１：Wi-Fi Protected Setup

※２：Push Button Configuration

補足

上記の機能に対応した製品には、次のいずれかのマークが表示されています。

索　引

■ 索引の使いかた

- このページでは、本書、「ユーザーズガイド　ネットワーク操作編」、「ユーザーズガイド　パソコン活用編」で説明されている項目を検索できます。

す

せ

そ

た

ち

て

と

な

ね

の

は

〈キリトリ線〉

リモコン アクセス

暗証番号

＊

あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して無音状態のときに、暗証番号を入力します。

①

3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. ９０を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、「ピピピッ」という音が聞こえますので、もう一度やり直してください。

②

〈キリトリ線〉

リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
メモリ受信を解除（※1）		951
ファクス転送に設定（※2）		952
電話呼び出しに設定（※2）		953
ファクス転送番号の登録･変更		954+転送番号+##
メモリ受信を設定		956
ファクスの取り出し		962+ダイヤル入力+##
ファクス消去		963
受信状況のチェック（※3）	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付け留守電	981
	自動切換え	982
	ファクス	983
終了		90

※1 電話呼び出しや、ファクス転送の設定も解除されます。
※2 呼び出し番号･転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。
※3 「ピー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ピピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していません。

③ ④

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問（Q&A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー　検索

http://solutions.brother.co.jp/

携帯電話向けサポートサイト（ブラザーモバイルサイト）

携帯電話からでも簡単なサポート情報をみることができます。

http://m.brother.co.jp/support/

ブラザーマイポータル

ブラザーマイポータル会員専用サイト

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

オンラインユーザー登録 ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）

0120-143-410

受付時間：月～金　9:00～20:00 /土　9:00～17:00　日曜日･祝日･弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

安心と信頼の修理サービス

無償 ブラザー サービス エクスプレス

SERVICE EXPRESS ブラザーサービスエクスプレス

複合機	1年間無償保証

製品ご購入後1年間無償保証いたします。　※保証期間後の修理は発生の都度有償対応となります。

● **コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48時間以内に故障機の回収。** ※一部地域を除く

事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。

● **7日以内に修理品を返送。**

弊社到着後、7日間以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

有償 サービスパック3･4･5年

商品ご購入後、6ヶ月以内にご購入／ご契約して頂けるサービスメニューです。
ご購入日から3・4・5年の長期保守を割安にご購入可能。

有償 サービスパック1年

商品ご購入後いつでもご契約頂ける1年単位のサービスメニューです。

※各サービスパックについては、［出張修理］か［引取り修理］を選択していただけます。
※各サービスパックには、技術料／部品代が含まれます。
※引取り修理は宅配業者による故障機の回収手配をし、修理完了後返送いたします。
　引取り修理契約には送料も含まれております。
※出張修理は原則、コール受付の翌営業日にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応いたします。
　出張修理契約には、出張料が含まれております。
※サービスパック1年は、ご購入後4年以内かつ当社基準に適合した製品である事が条件になります。

各定額保守サービスの内容、該当機種、料金などの詳細は下記窓口へお問い合わせください。
TEL：052-824-3253
http://www.brother.co.jp/product/support_info/s-pack/index.htm

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、「ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）0120-143-410（フリーダイヤル）」にご連絡ください。
※Presto! PageManagerについては、以下にお問い合わせください。
　ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
　TEL：03-5472-7008　FAX：03-5472-7009　10:00～12:00　13:00～17:00（土日･祝日を除く）
　テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp　ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/

トナーカートリッジ・ドラムユニットは当社指定品をご使用ください。当社指定以外の品物をご使用いただくと、故障の原因になる可能性があります。
純正品のトナーカートリッジ・ドラムユニットをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切でない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas it may violate the Telecommunications Regulations that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the Power available in foreign countries.
Using Japan models overseas is at your own risk will void your warranty.

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
●本製品の補修用性能部品の最低保有期限は製造打ち切り後5年です。（印刷物は2年です）